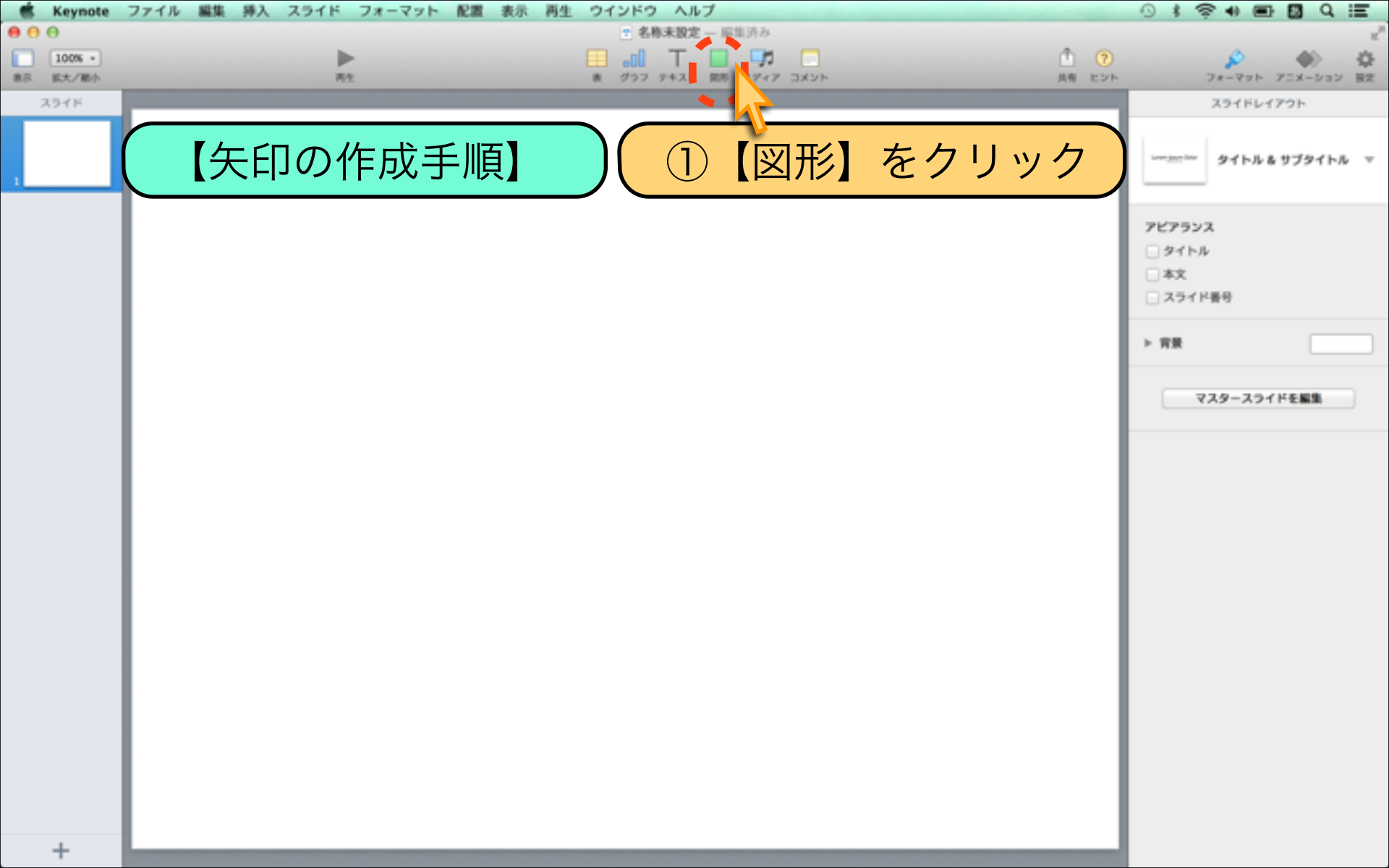




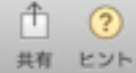
Lesson 4-1 矢印の作成・角度調整

keynote-study.com



【矢印の作成手順】

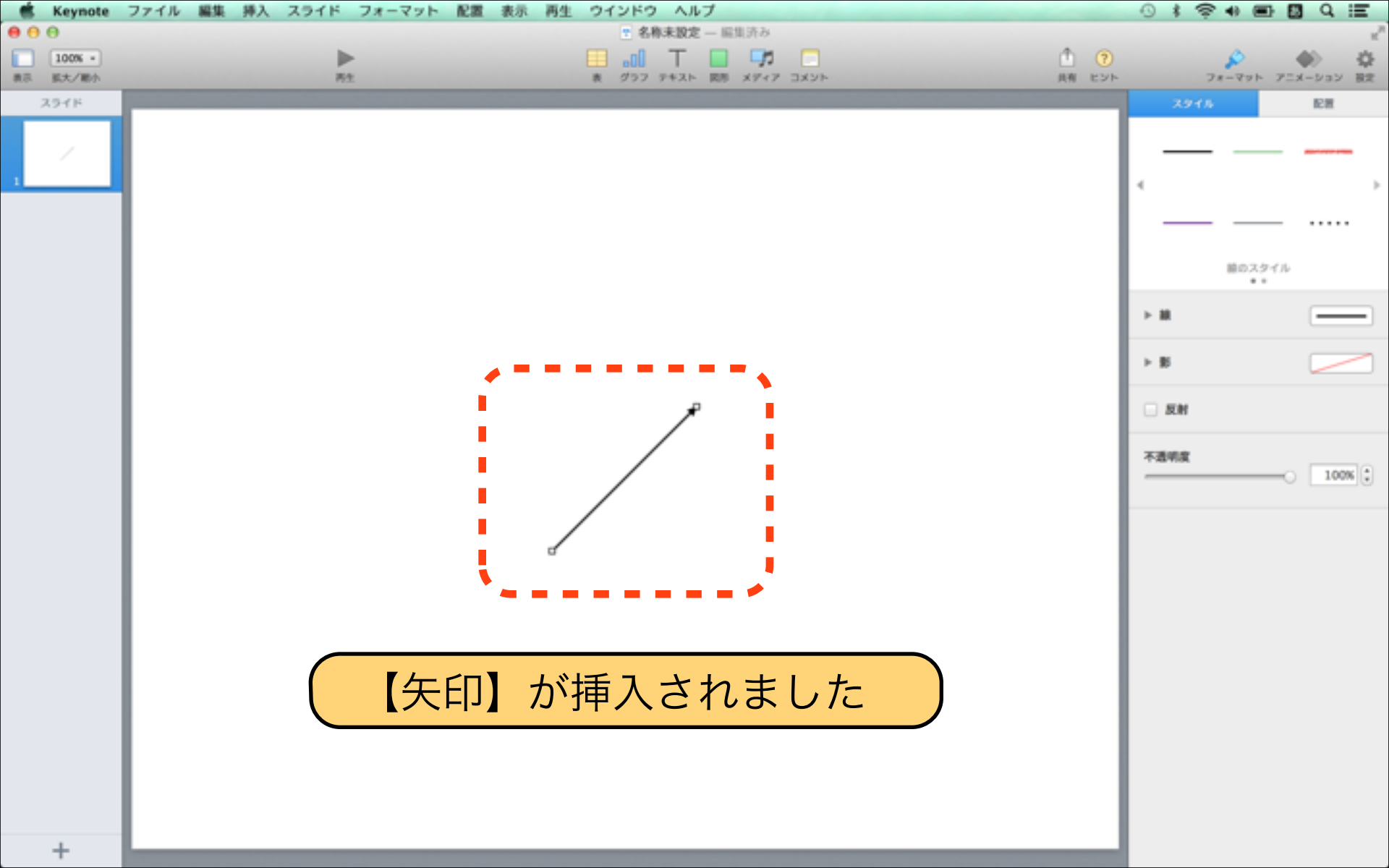
① 【図形】 をクリック



① 図形の一覧が表示されます

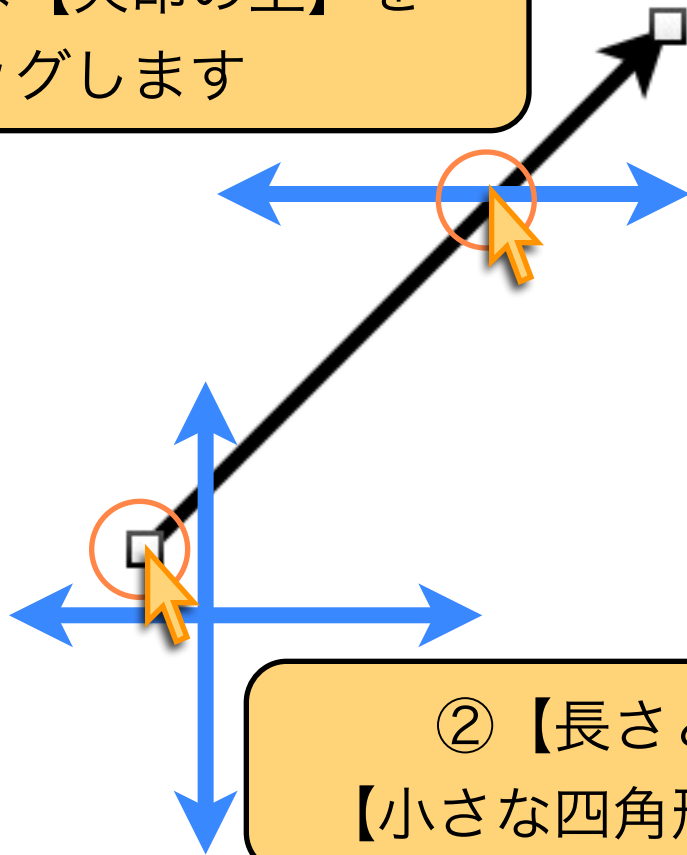


② 【矢印】 をクリック



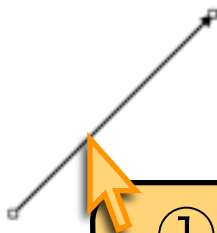
【矢印】が挿入されました

① 【移動】は【矢印の上】を
ドラッグします



② 【長さや方向】の調整は
【小さな四角形】をドラッグします

【矢印の詳細設定】



① 【矢印】 をクリック

② 【スタイルインスペクタ】 に
表示が切り替わります



スタイル 配置



箭のスタイル
**

▶ 線

▶ 影

反射

不透明度 100%

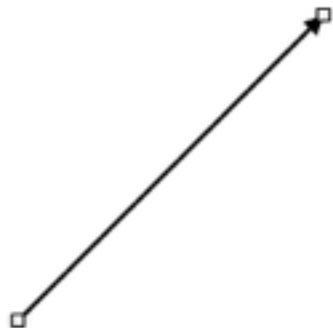
① 【設定項目】の説明

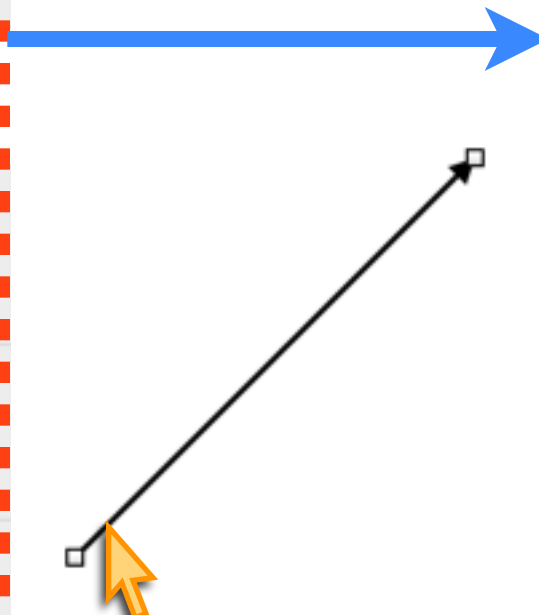
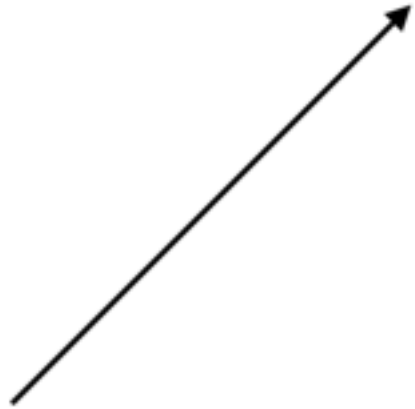
矢印の【太さ】

矢印の【色】

【線の種類】の変更

矢印の【先端の形状】変更





【注意】

間違って矢印以外をクリックすると選択が外れて「インスペクタ表示が切り替わってしまいます」再びクリックして矢印を選択し直しましょう。



【インスペクタ】の設定を変更することで
様々な矢印が作れます

【矢印の作成ポイント】



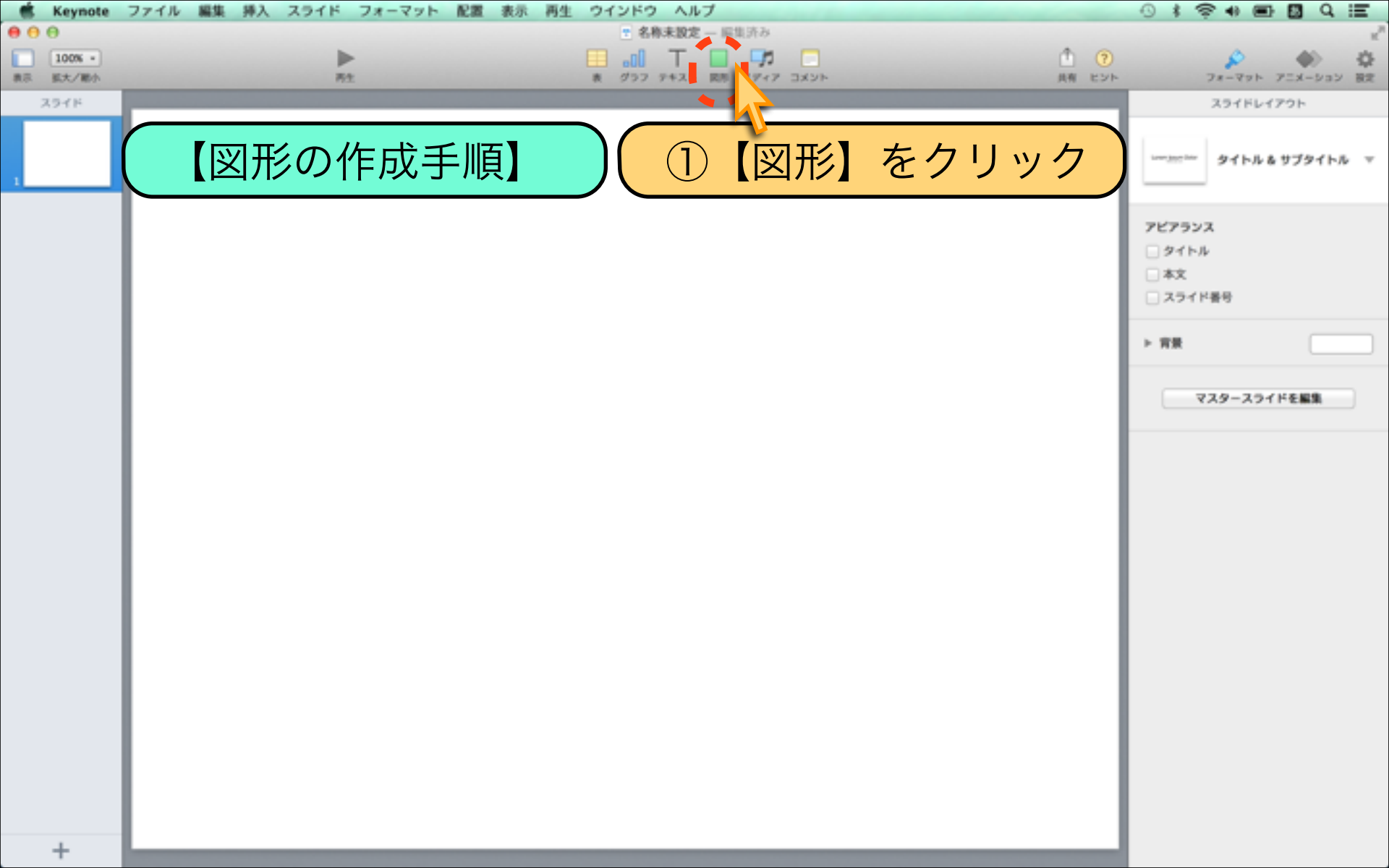
矢印の作成のコツはインスペクタです。
矢印以外にも様々な線を描くことができます。
インスペクタのメニュー項目を
組み合わせながら試してみましょう。



Lesson 4-2

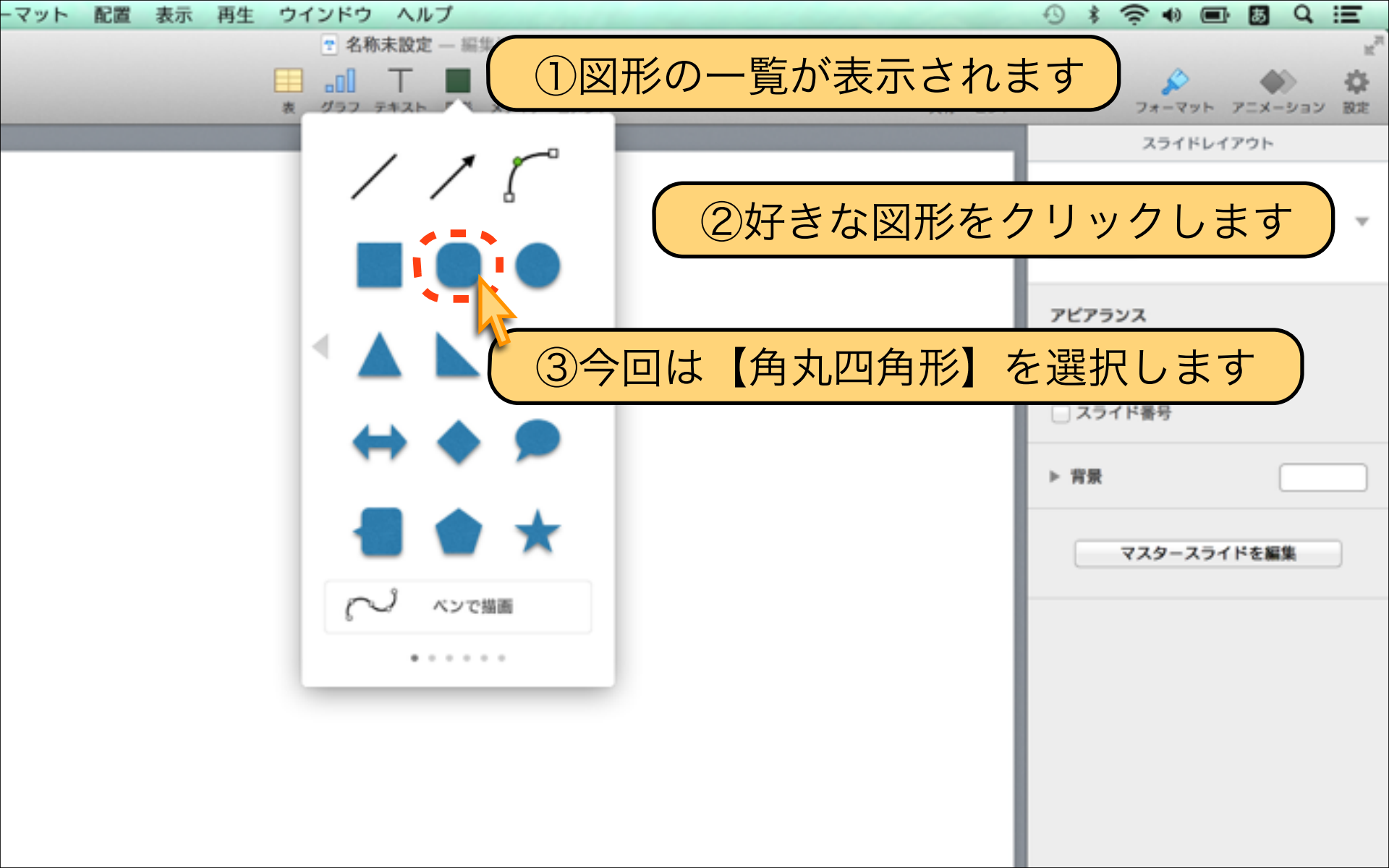
図形の作成

keynote-study.com



【図形の作成手順】

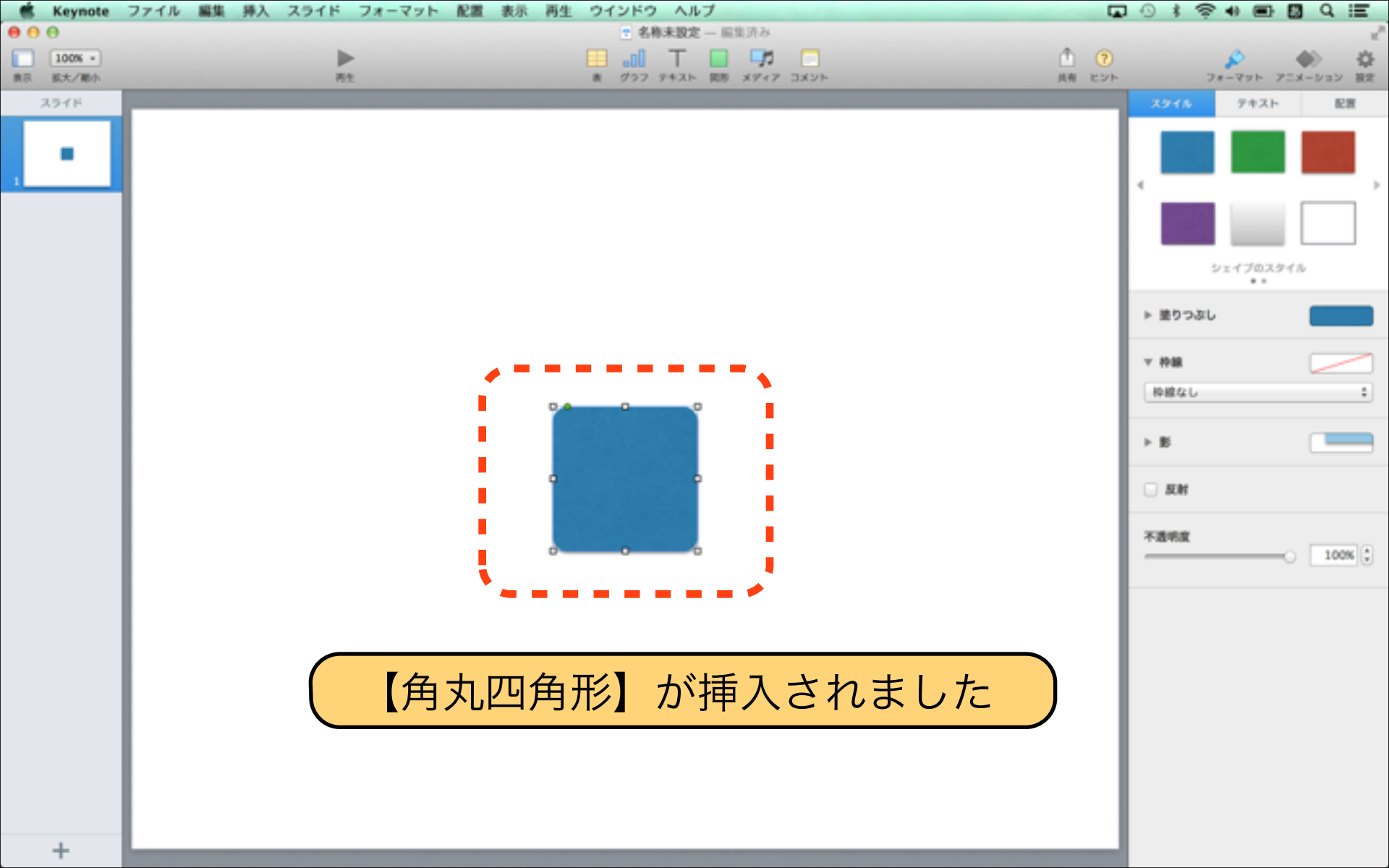
① 【図形】 をクリック



①図形の一覧が表示されます

②好きな図形をクリックします

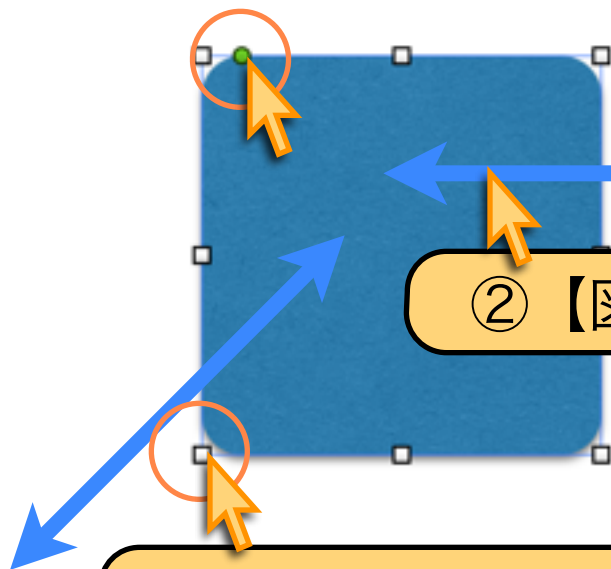
③今回は【角丸四角形】を選択します



【角丸四角形】が挿入されました

【図形の調整方法】

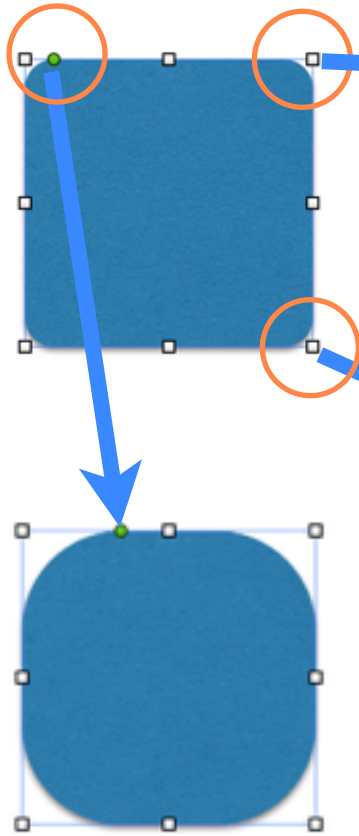
① 【角の丸み調整】 は青い小さな丸をドラッグ



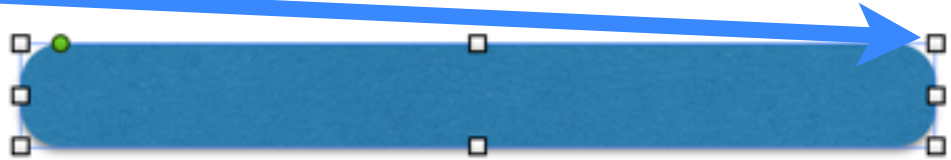
② 【図形の移動】 は図形の内側をドラッグ

③ 【図形の拡大・縮小】 は白い小さな四角をドラッグ

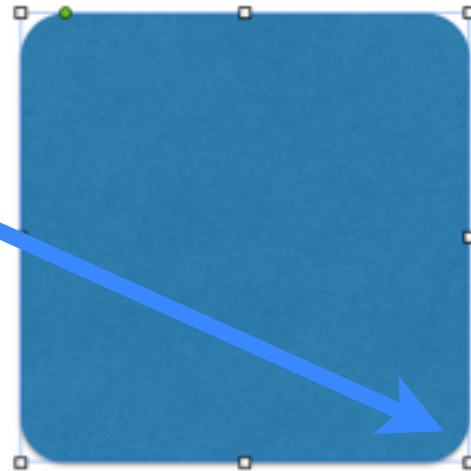
① 【角丸四角形】 から様々な形になります



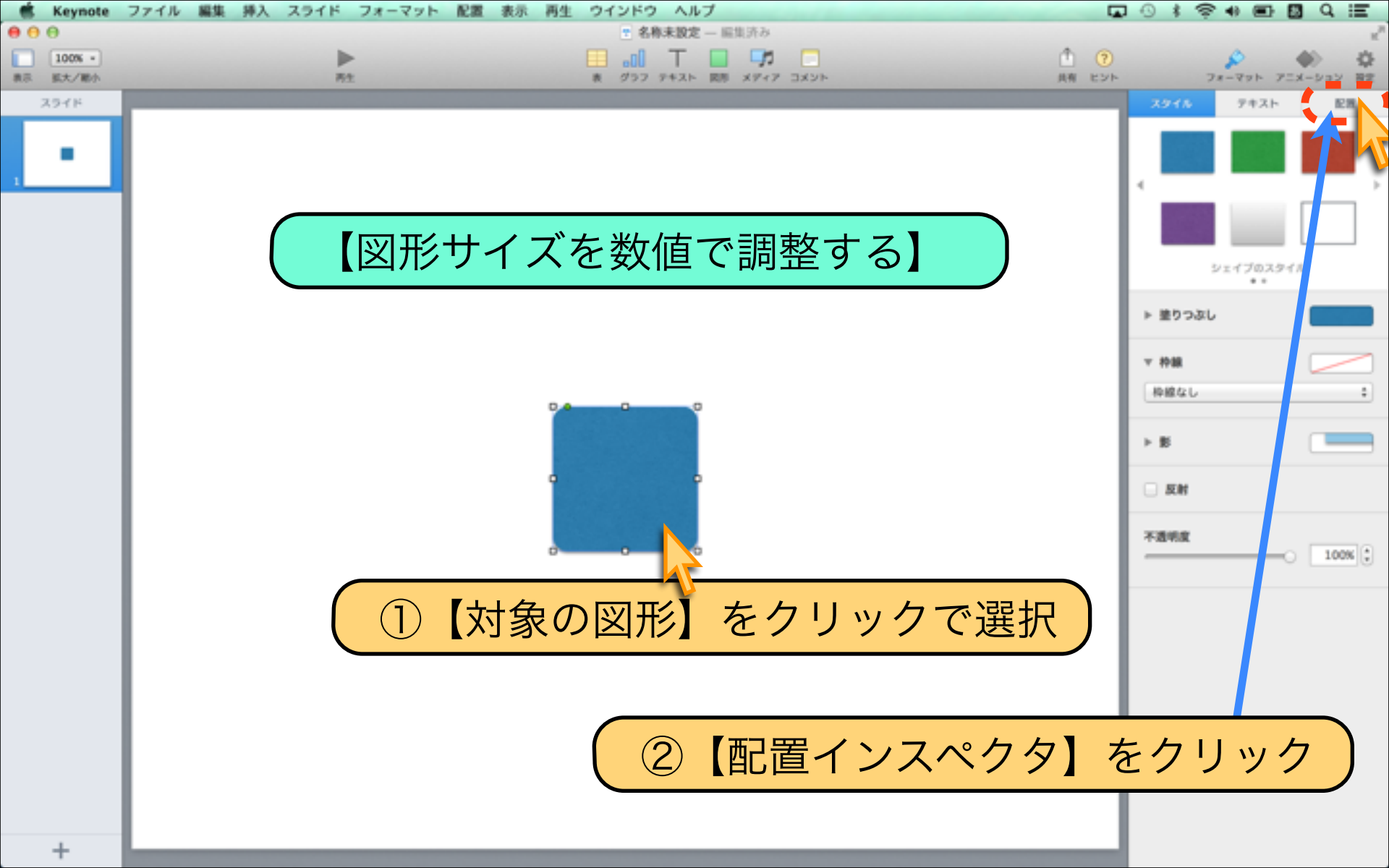
【角の丸み】 を調整



ドラッグで自由に形を調整



【shift】 を押したままドラッグで
縦横比率を維持して 【拡大・縮小】



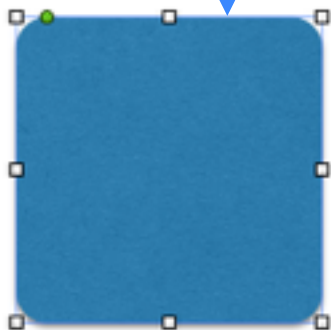
【図形サイズを数値で調整する】

① 【対象の図形】 をクリックで選択

② 【配置インスペクタ】 をクリック

① 【配置インスペクタ】に切り替わりました

②現在の【図形情報】が表示されています



スタイル

テキスト

配置



最背面



最前面



背面



前面

配置

均等に配置

サイズ

150 pt

幅

150 pt

高さ

縦横比を固定

位置

437 pt

X

309 pt

Y

回転



0°

角度



反転

角の半径

15 pt

ロック

ロック解除

グループ

グループ解除

【POINT】 数値入力での図形調整は複数の図形を同じ大きさに作成したい時に役立つ機能です

① **【サイズ】** を「幅400pt 高さ40pt」に設定して横長の角丸四角形にします



フォーマット アニメーション 設定

スタイル テキスト **配置**

最背面 最前面 背面 前面

配置 均等に配置

サイズ 400 pt 40 pt
幅 高さ

縦横比を固定

位置 437 pt 309 pt
X Y

回転 0° 反転

角の半径 15 pt

ロック ロック解除

【PowerPointの図形作成の違い】



PowerPointでは、SmartArtを使って様々な図形を簡単に作成できますが、Keynoteには同じような機能がありません。

「ペンで描画」機能で自分で作成しましょう



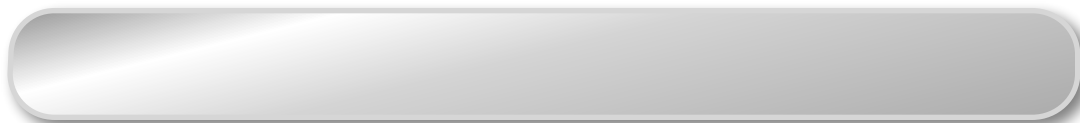
Lesson 4-3 図形の色を変更する

keynote-study.com

今回は、見本と同じように配色しながら
【色の設定方法】を紹介していきます



(見本)



①前回のレッスンの図形を使います

②【サイズ】を「幅400pt 高さ40pt」に設定して横長の角丸四角形にします



スタイル テキスト **配置**

最背面 最前面 背面 前面

配置 均等に配置

サイズ 400 pt 幅 40 pt 高さ

縦横比を固定

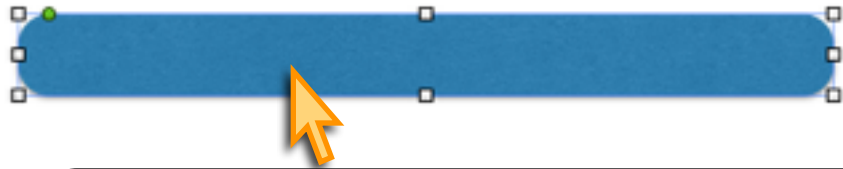
位置 437 pt X 309 pt Y

回転 0° 角度 反転

角の半径 15 pt

ロック ロック解除

② 【スタイル】 をクリック



① 図形をクリックして選択します

③ クリック





表



グラフ



テキスト



図形



メディア



コメント



共有



ヒント



フォーマット



アニメーション



設定

【注意】

「図形の選択が外れてしまう」と
「インスペクタ表示が切り替わります」
再びクリックして選択し直しましょう。



スライドレイアウト



タイトル & サブタイトル ▾

アピアランス

- タイトル
- 本文
- スライド番号

▶ 背景

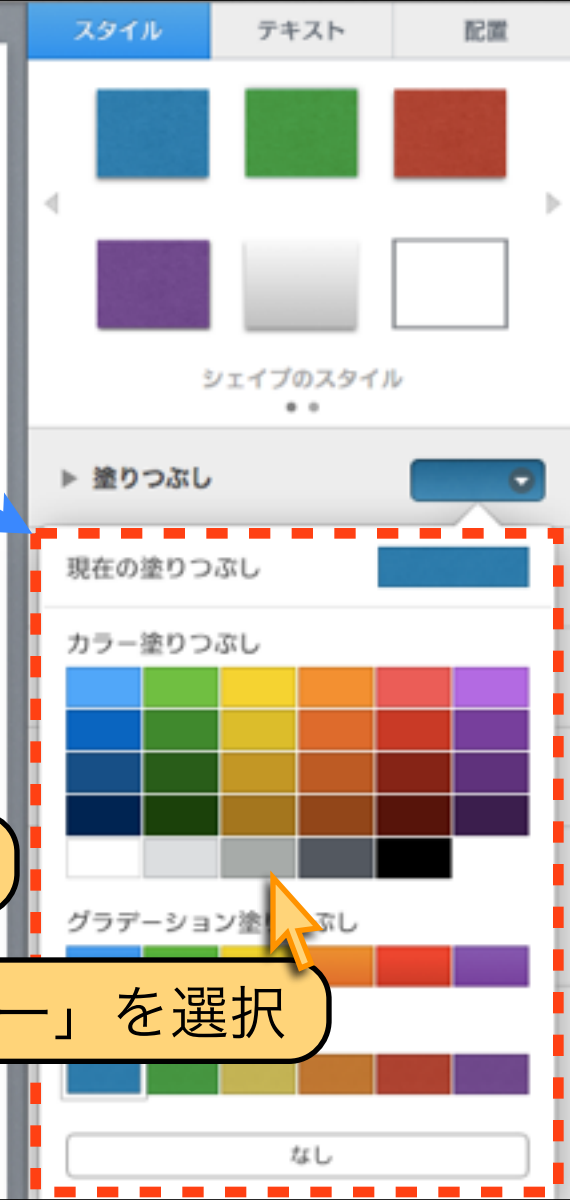
[マスタースライドを編集](#)

①Keynoteに用意されている【色の一覧】が表示されました



②好きな色をクリックします

③今回は「グレー」を選択



① 図形の色が変更されました



【POINT】

設定した色を、前の色に戻したい場合には
[command]+[Z]で戻せます。

スタイル

テキスト

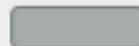
配置



シェイプのスタイル



▶ 塗りつぶし



▶ 枠線

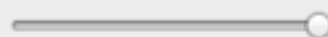


▶ 影



反射

不透明度



100%



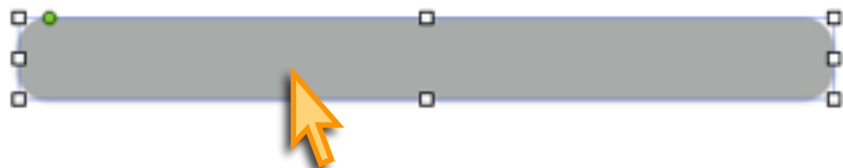
【POINT】 間違えた操作をした後に、「一つ前の状態に戻る」
[command]+[Z]は、最もよく使うので覚えておきましょう



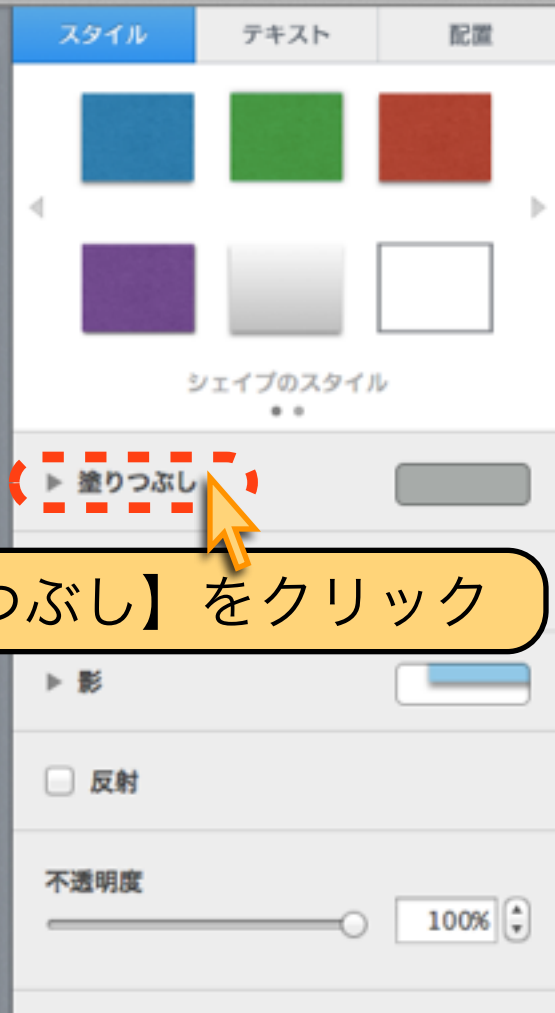
[command]+[Z]を同時に押します

【図形の色の詳細設定】

① 「用意された色の一覧以外」にも自由に色を設定することが可能です



② 図形をクリック



③ 【塗りつぶし】をクリック

① 【塗りつぶしの詳細メニュー】が表示されました

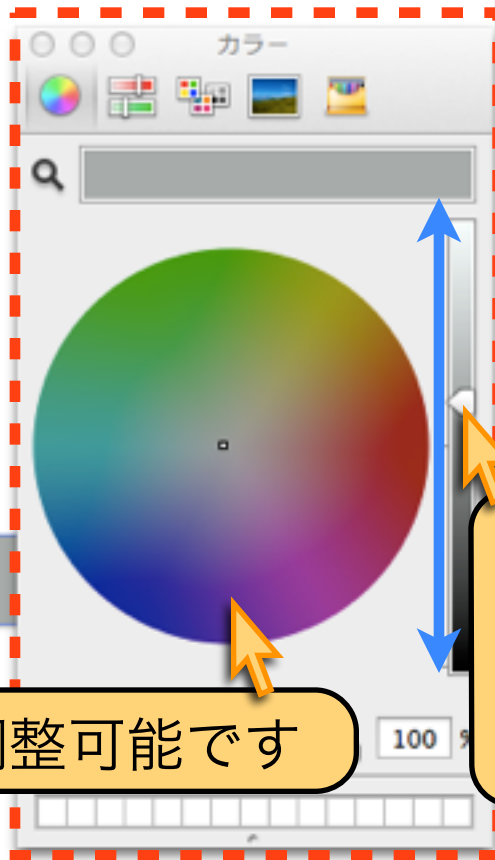
② クリックして
【カラーパレット】を表示します



Shape style panel showing various options:

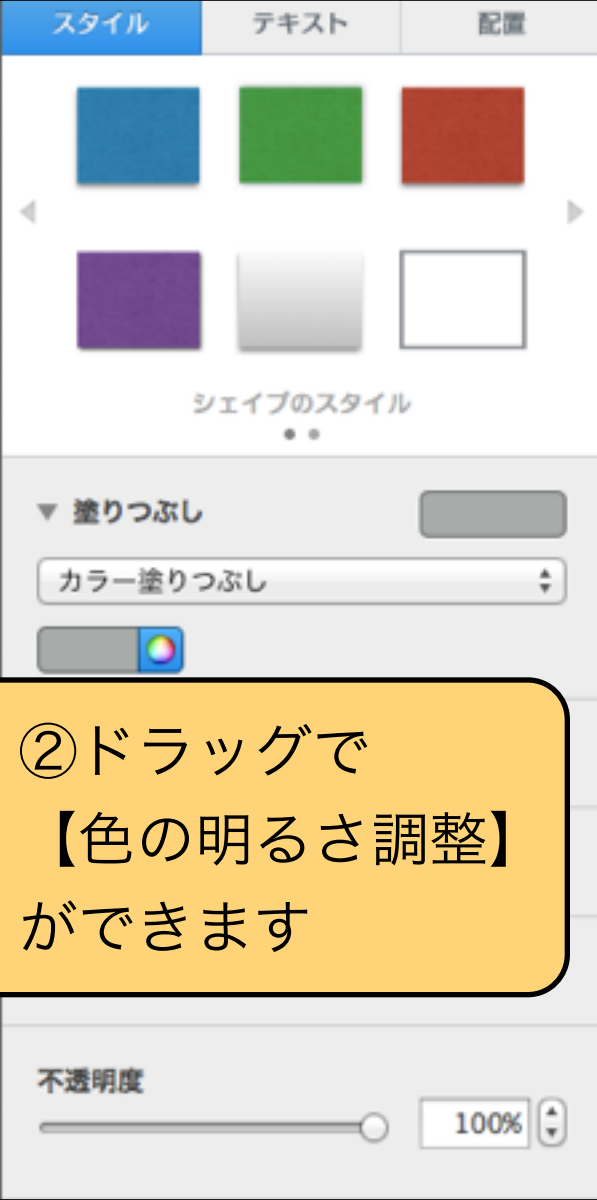
- シェイプのスタイル
- ▼ 塗りつぶし (Fill) - expanded
- カラー塗りつぶし (Color fill) - dropdown menu
- Color palette icon (highlighted by a mouse cursor)
- ▶ 枠線 (Stroke)
- ▶ 影 (Shadow)
- 反射 (Reflection)
- 不透明度 (Opacity)

① 【カラーパレット】 を表示されました



②ドラッグで
【色の明るさ調整】
ができます

③クリックで好きな色に調整可能です



【グラデーションを設定する】

① 【単色】 から
【グラデーション】 に変更します



② 【カラー塗りつぶし】 をクリック

スタイル テキスト 配置

シェイプのスタイル

▼ 塗りつぶし

カラー塗りつぶし

影

反射

不透明度

① 【塗りつぶし】の選択メニューが表示されました

【解説】 2つのグラデーションの違い
「グラデーション塗りつぶし」は
【2色間でのグラデーション】です
「グラデーションの塗りつぶし（詳細）」
【複数の色でグラデーション】です

スタイル

テキスト

配置

シェイプのスタイル

塗りつぶし
なし
✓ カラー塗りつぶし
グラデーション塗りつぶし
グラデーションの塗りつぶし（詳細）
イメージ塗りつぶし
詳細イメージ塗りつぶし

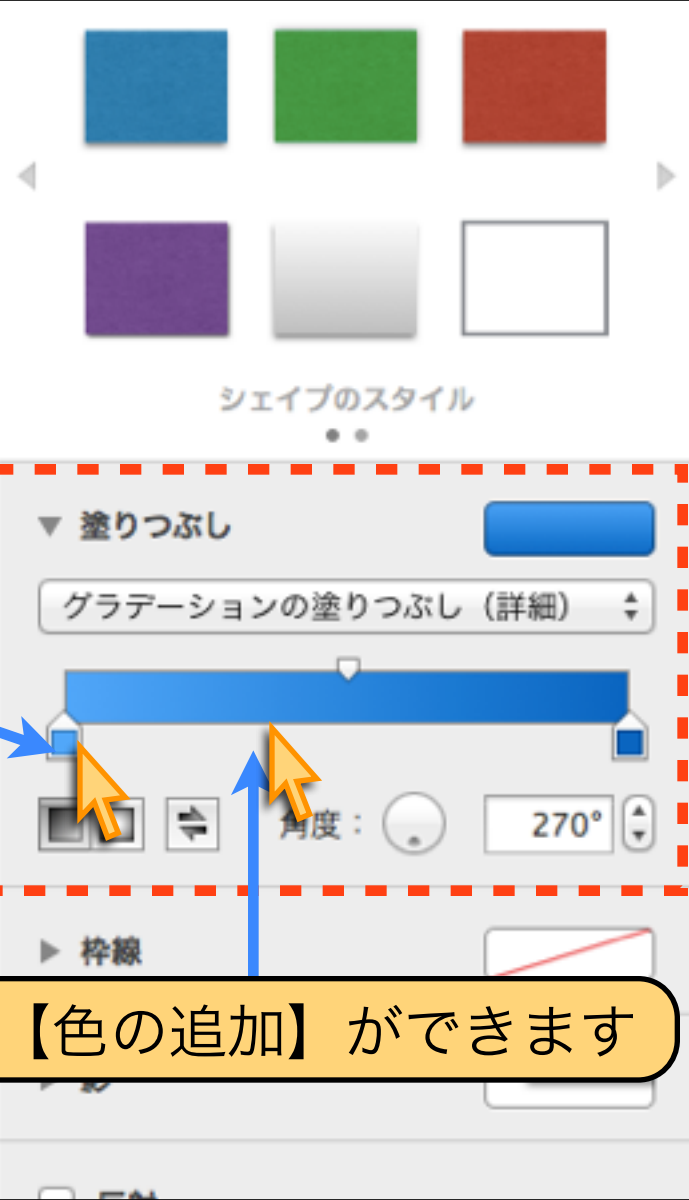
②今回は【グラデーションの塗りつぶし（詳細）】をクリック

反射

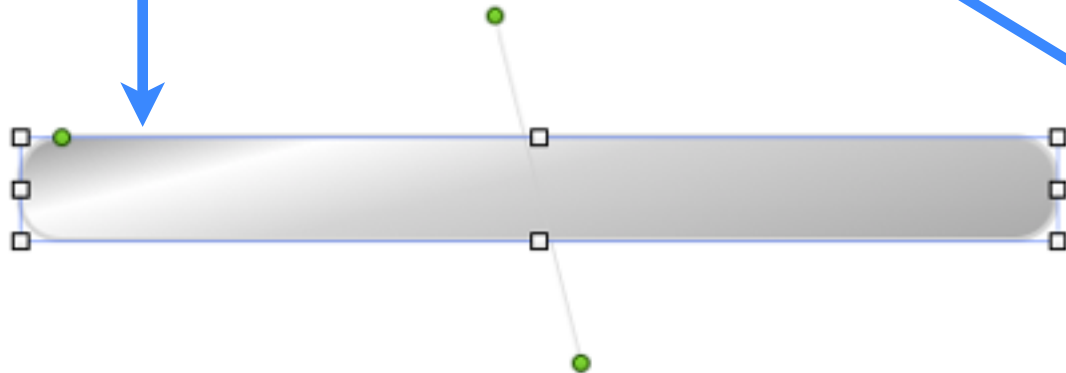
① 【グラデーション設定項目】
が表示されました

② クリックして 【色を変更】 します

③ カラーバーの下をクリックで 【色の追加】 ができます



①見本の【グラデーション設定】です



②【枠線の色】も設定します



シェイプのスタイル

▼ 塗りつぶし

グラデーションの塗りつぶし (詳細)



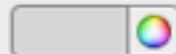
角度:



284°

▼ 枠線

線



2 pt

▶ 影

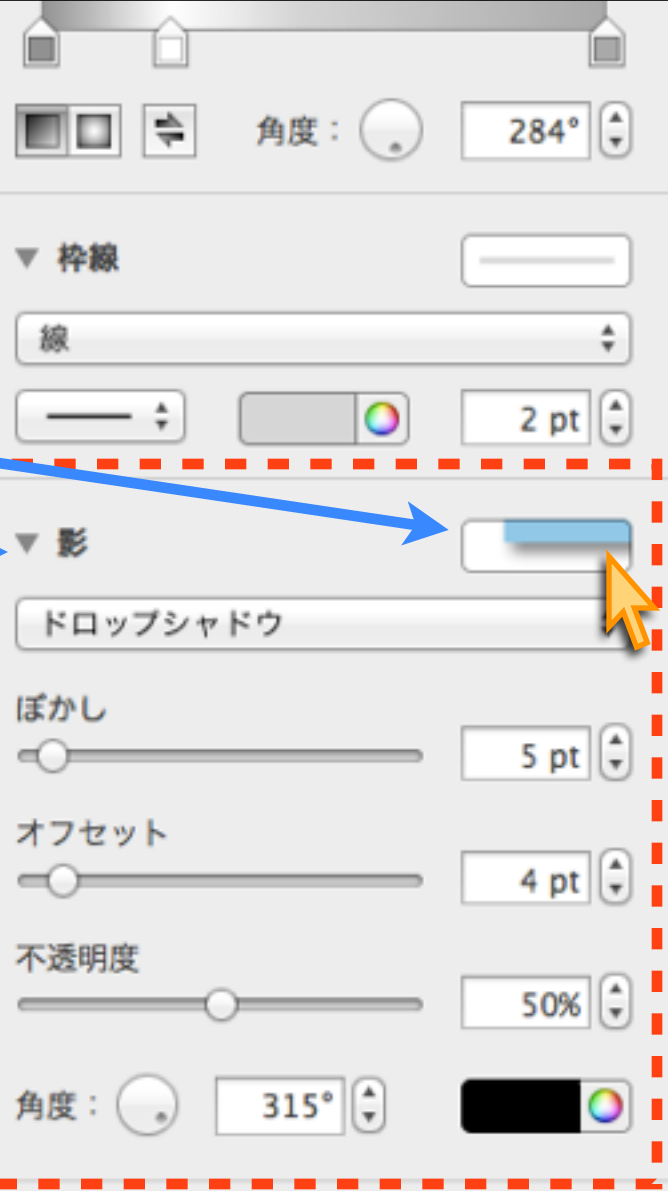


反射

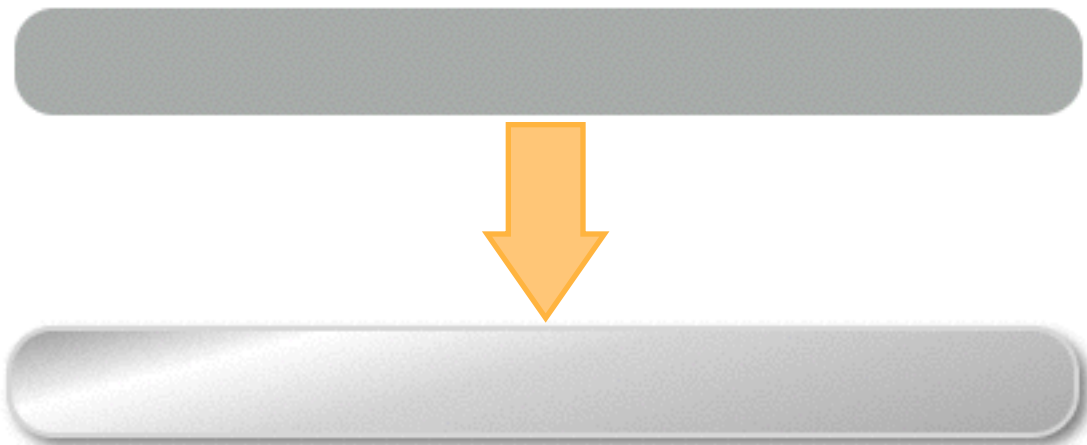


①見本と同じ【影】を追加します

②クリックして【影の詳細設定】
を行います



① 【単色グレーの塗りつぶし】 から
【グラデーションの塗りつぶし（詳細）】 に変更しました



【図形の配色POINT】

リッチに魅せる為に、グラデーションで光を表現して影を追加して、立体的なデザインに仕上げてみました。

【図形の色を設定するPOINT】



配色する時のコツは、同系色を使うことです。
たくさんの色を使い過ぎると
スライド全体がまとまらない印象になります。
このページはグレー基準に配色しました。



Lesson 4-4

図形の複製と配置

keynote-study.com

今回は、見本と同じように図形を配置しながら
【図形の複製と配置】を紹介していきます

プレゼンテーションを効率よく作成する手順

①テキスト原稿の制作

②図形や資料の挿入

③デザイン&レイアウト

④アニメーション設定

⑤プレゼン資料の完成

「前回のレッスンで配色した図形」
を用いて図形を組み合わせて
実際にスライドを作成していきます

①前回のレッスンの図形を使います



スタイル | テキスト | **配置**

最背面 | 最前面 | 背面 | 前面

配置 | 均等に配置

サイズ | 400 pt 幅 | 40 pt 高さ

縦横比を固定

位置 | 437 pt X | 309 pt Y

回転 | 0° 角度 | 反転

角の半径 | 17 pt

ロック | ロック解除

最初に【テーマを設定します】

① 【設定】 をクリック

プレゼンテーションの新規テーマを選択してください：

標準

ワイド

プレゼンテーション

オーディオ

Lorem Ipsum Dolor

テーマ
ホワイト

テーマの変更

② 【テーマの変更】 をクリック

スライドショーの再生を繰り返す
Esc キーを押して終了します

スライドショー再開までの待機時間：

15 分

プレゼンテーションタイプ

通常

遅れ： 5.0 秒

2.0 秒

トランジション ビルド

スライドのサイズ

標準 (4:3)

開くときにパスワードを要求

ブラック

ホワイト

グラデーション

写真エッセイ

Lorem Ipsum Dolor

LOREM IPSUM DOLOR

LOREM IPSUM DOLOR

クラシック

スレート

クリームペーパー

アーティスト

③ 【スレート】 をクリック

Lorem Ipsum Dolor

LOREM IPSUM DOLOR

Lorem Ipsum Dolor

LOREM IPSUM DOLOR

即興

ショールーム

ルネッサンス

写真ポートフォリオ

④ 【選択】 をクリック

スタイルの変更を保持

キャンセル

選択

① テーマが切り替わり背景が変更されました

② 次にスライドレイアウトを変更します

③ 【フォーマット】 をクリック

④ 【スライドレイアウト】 をクリック

⑤ 【空白】 レイアウトをクリック

編集エリア

編集工



①空白レイアウトのスライドに変更されました

②前回のレッスンで作成した図形をクリック

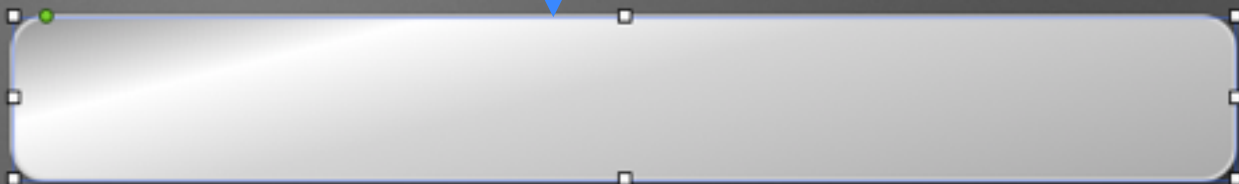
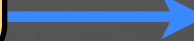
【POINT】

以前Keynoteで作成した図形は、他のファイルや他のスライドから【コピー&ペースト】が可能です

最背面 最前面 背面 前面

配置 均等に配置

①図形サイズを
「幅600px 高さ80px」に設定します



サイズ 600 pt 80 pt
幅 高さ

縦横比を固定

位置 399 pt 203 pt
X Y

回転 0° 反転

角度

角の半径 17 pt

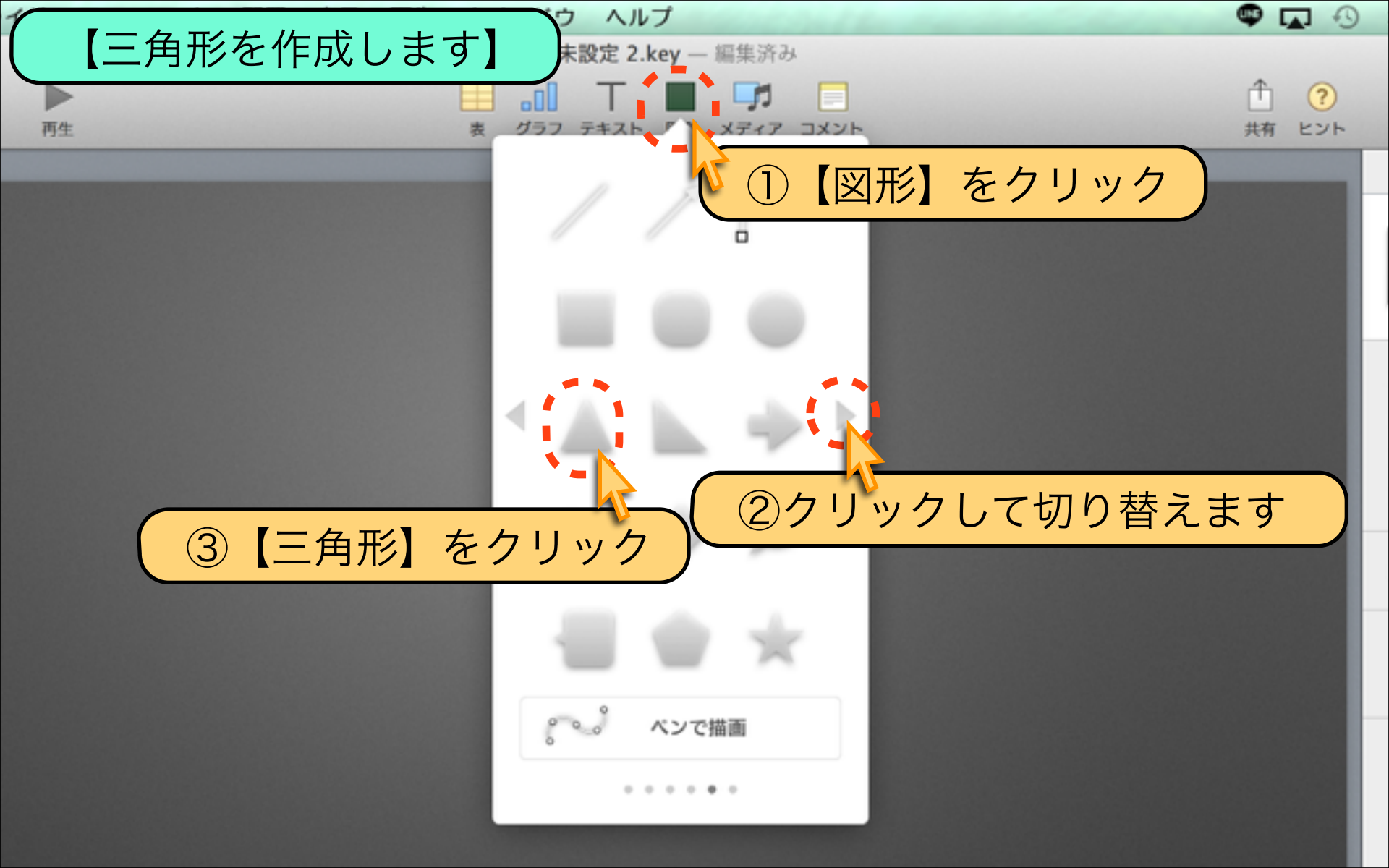
ロック ロック解除

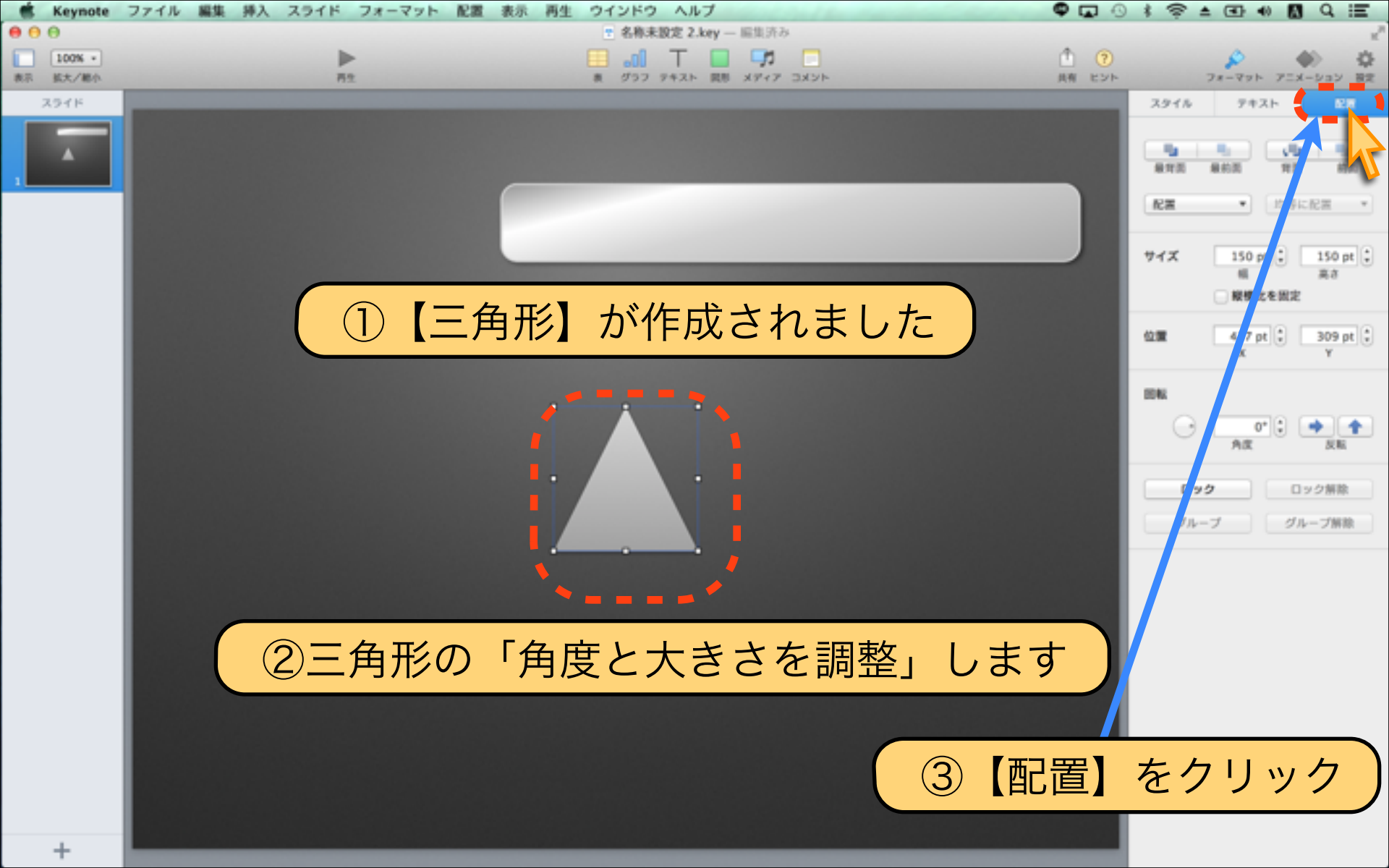
【三角形を作成します】

① 【図形】 をクリック

② クリックして切り替えます

③ 【三角形】 をクリック



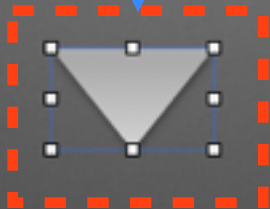


①【三角形】が作成されました

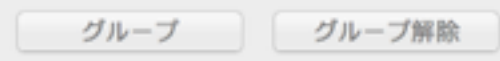
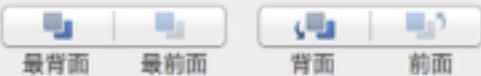
②三角形の「角度と大きさを調整」します

③【配置】をクリック

① 三角形の図形サイズを
「幅80px 高さ50px」と
「角度180°」に設定します



スタイル テキスト 配置



【図形を配置する為に、目安にルーラ（定規）を表示します】

① 【表示】 をクリック

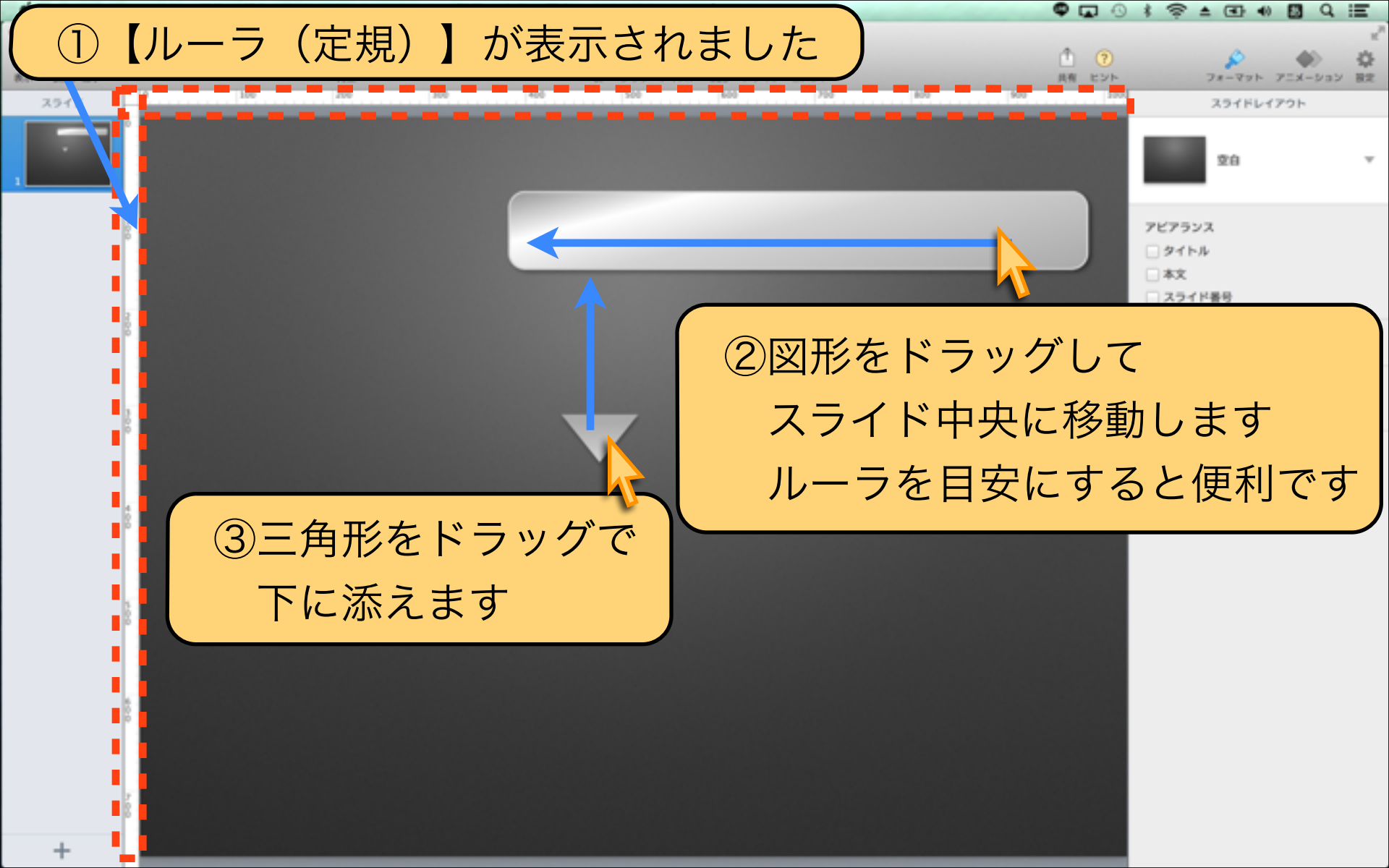
- スライドのみ
- ライトテーブル
- アウトライン
- マスタースライドを編集
- 🔍 “検索と置換”を表示
- 📏 ルーラを表示
- 📄 コメントを隠す
- 📄 発表者ノートを表示

② ルーラを表示します

①【ルーラ（定規）】が表示されました

③三角形をドラッグで
下に添えます

②図形をドラッグして
スライド中央に移動します
ルーラを目安にすると便利です



【図形を綺麗に配置する方法】

①図形を並べたら、
[Shiftキー]を押したまま
2つの図形をクリックして
全て選択状態にします

【POINT】

図形の複数選択は[shiftキー]+クリック

図形作成時には、よく使うので覚えておきましょう



① 【配置】 — 【オブジェクトを整列】 — 【中央揃え】 をクリック

【用語解説】 オブジェクトとは？

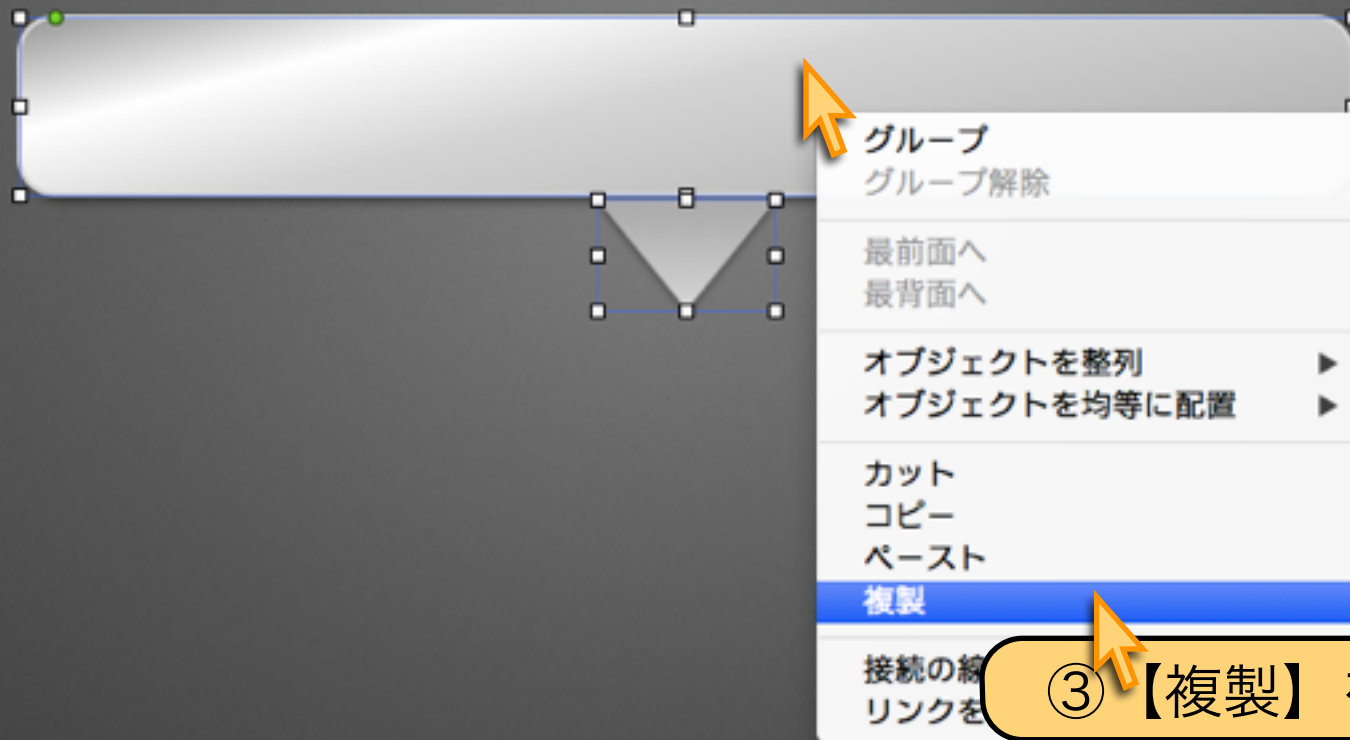
オブジェクトとは、操作対象物のことです

例えば、図形、テキスト、写真もオブジェクトと呼びます

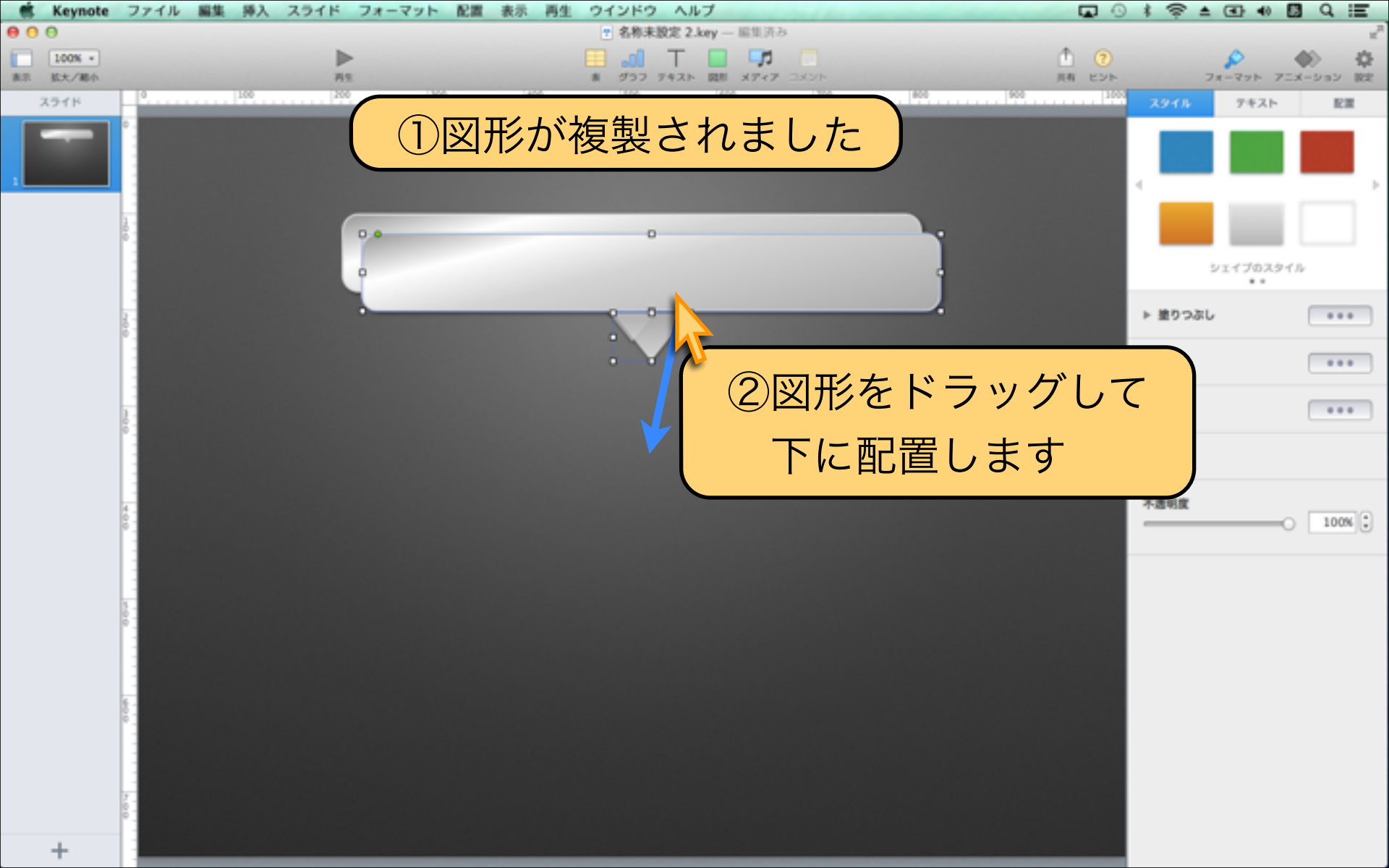
① 2つの図形が中央に配置されました

【図形を複製します】

② 図形が選択状態のまま（右クリック）でメニューを表示



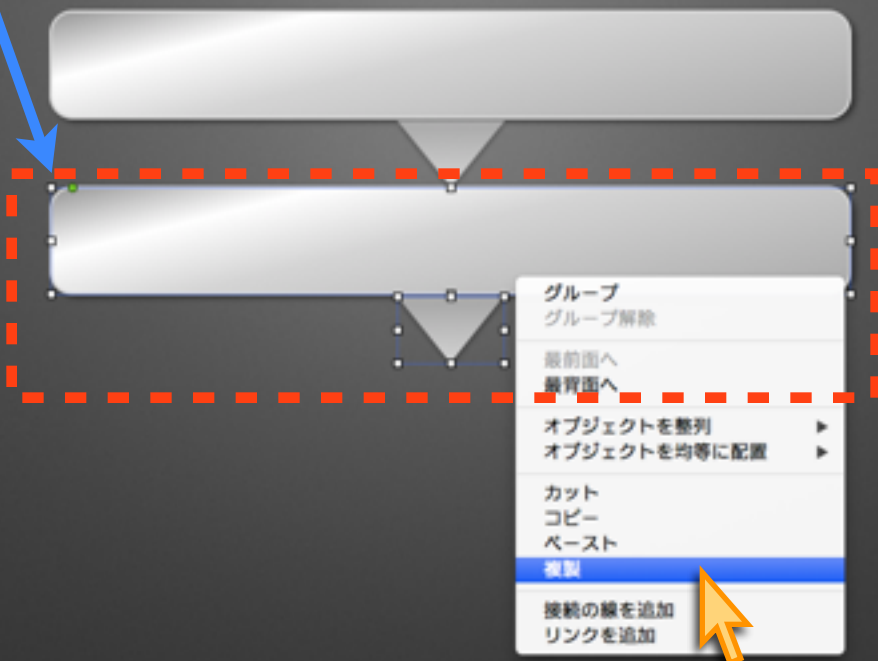
③ 【複製】 をクリック



①図形が複製されました

②図形をドラッグして下に配置します

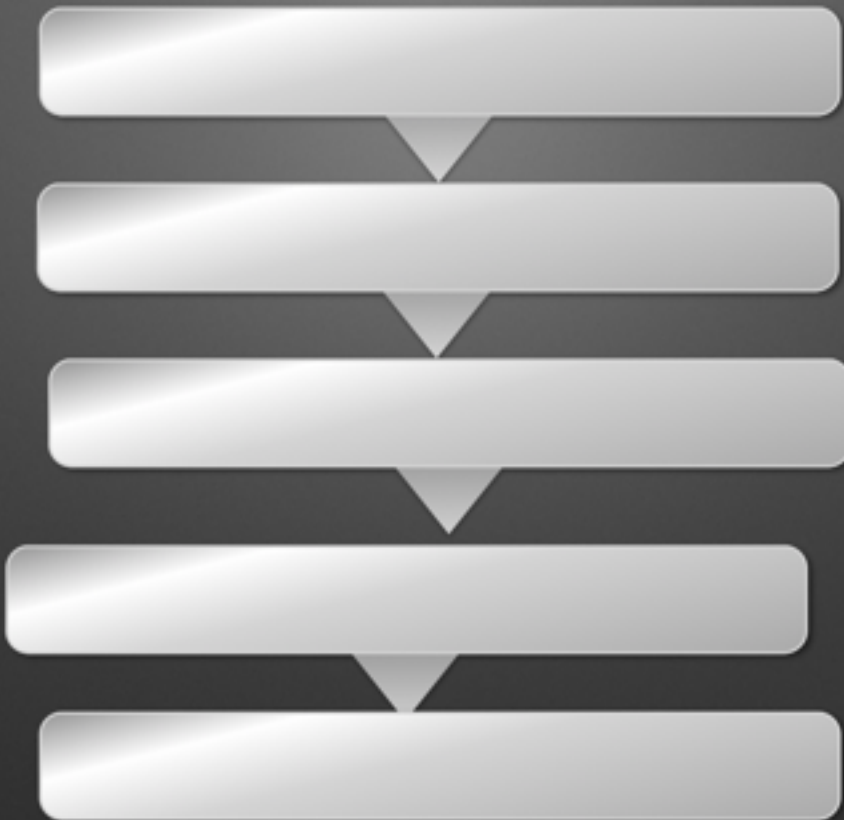
①図形を移動させて下に配置しました



②再び図形をクリック選択後、【複製と移動】を繰り返して「全部で5つ」作成します

① 5つの図形を並べます

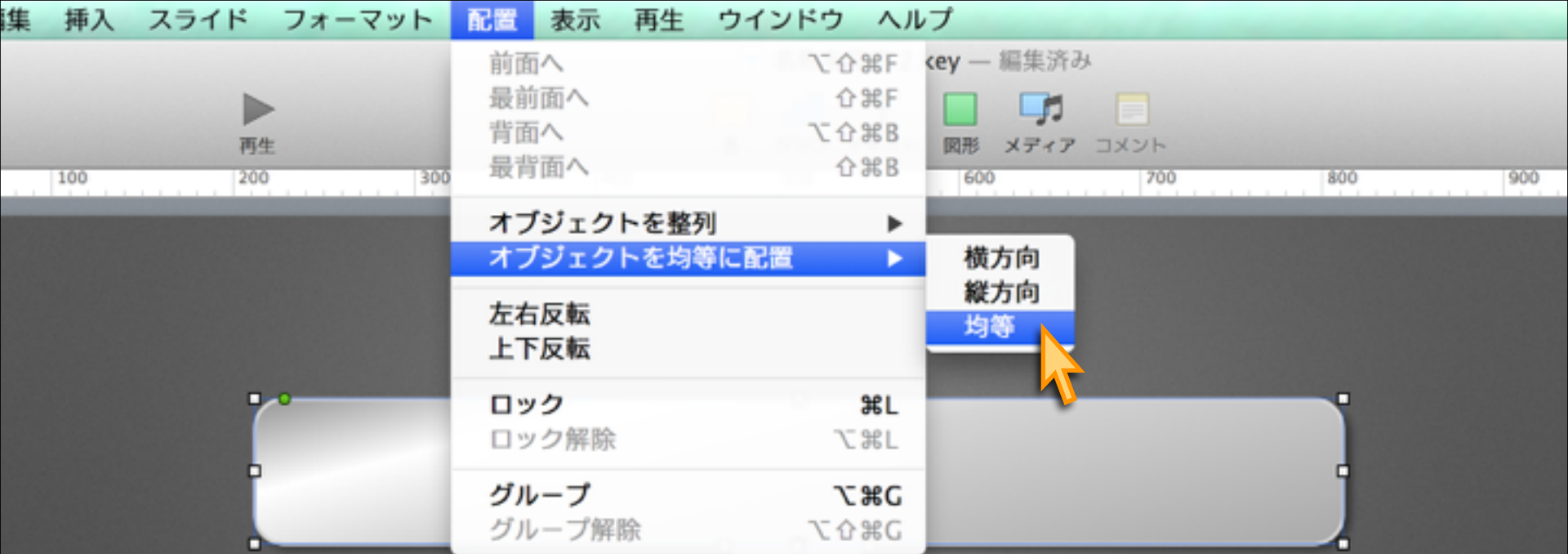
② 次に【均等に配置する方法】を紹介します



【複数の図形を綺麗に配置する方法】

①[Shift]キーを押したまま
「全ての図形をクリック」
で選択状態にします

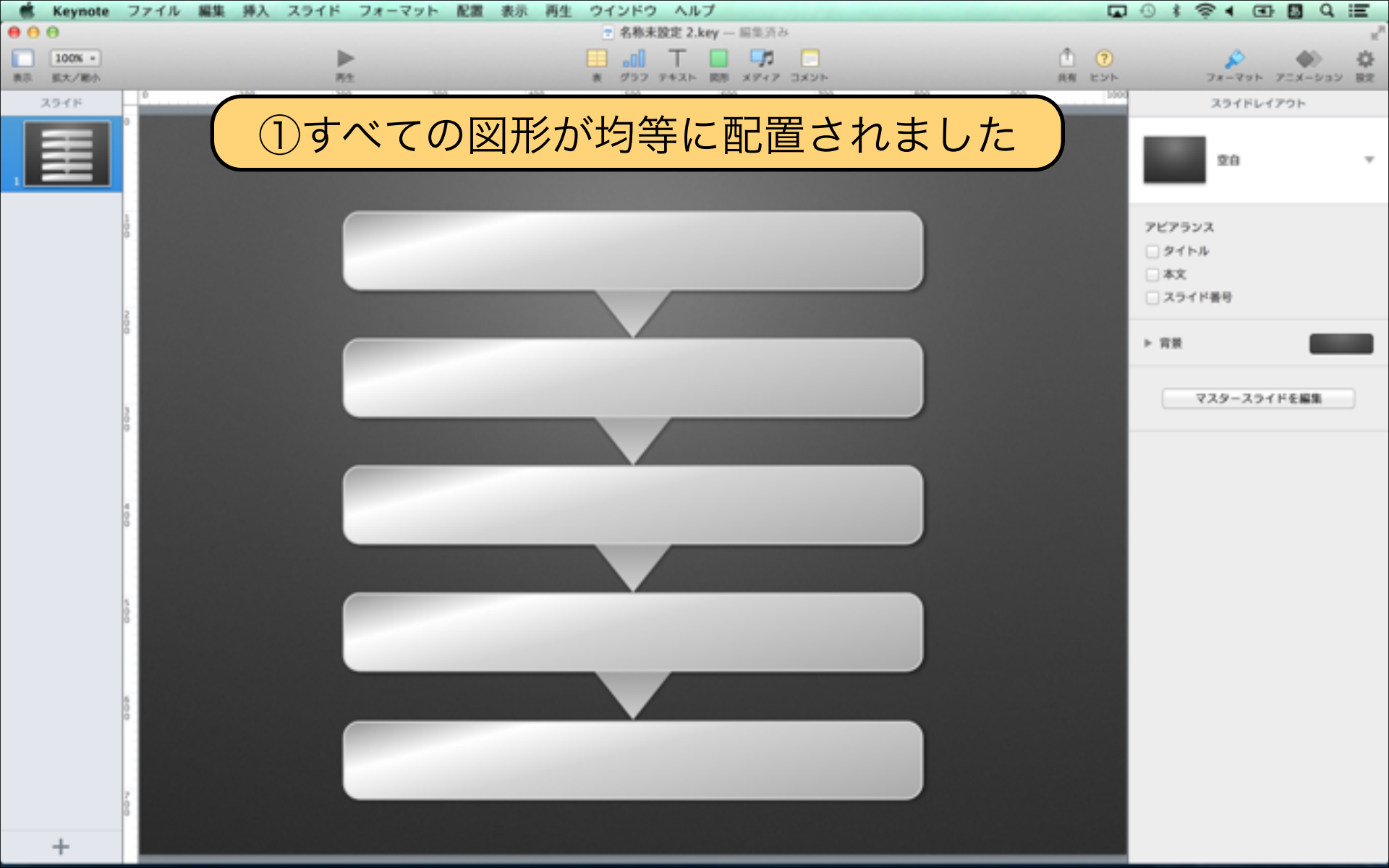
【POINT】
図形の複数選択は
[shift]+クリック



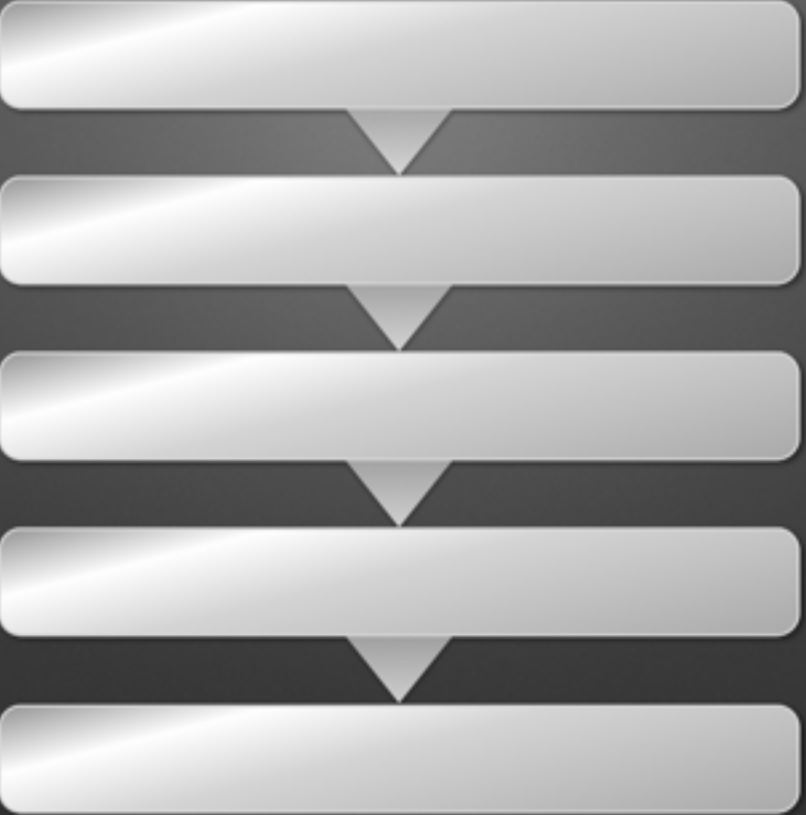
① 【配置】 — 【オブジェクトを均等に配置】 — 【均等】 をクリック

【POINT】

「オブジェクトを整列」と「オブジェクトを均等に配置」
を組み合わせることで、きれいに配置することができます



①すべての図形が均等に配置されました



スライドレイアウト

空白

アビランス

- タイトル
- 本文
- スライド番号

背景

マスタースライドを編集

【図形を効率良く作るコツ】



以前作成した図形がある場合には
他のKeynoteファイルや他のスライドから
「コピー&ペースト」で再利用します。
図形、スライド丸ごと「複製」も便利です。



Lesson 4-5 図形と文字の重なり順序

keynote-study.com

前回に続き、見本と同じようにスライド作成しながら
【図形と文字の重なり順序】を紹介していきます

プレゼンテーションを効率よく作成する手順

①テキスト原稿の制作

②図形や資料の挿入

③デザイン&レイアウト

④アニメーション設定

⑤プレゼン資料の完成

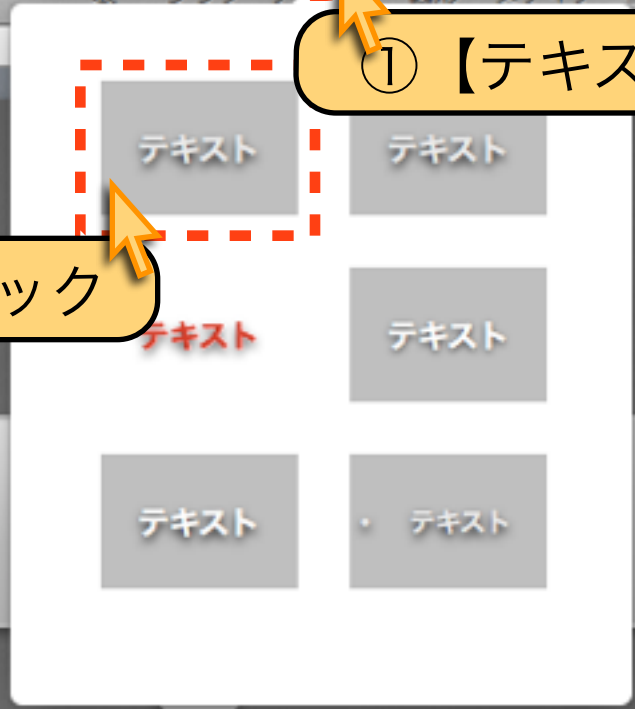
【図形の上にテキストを配置する】



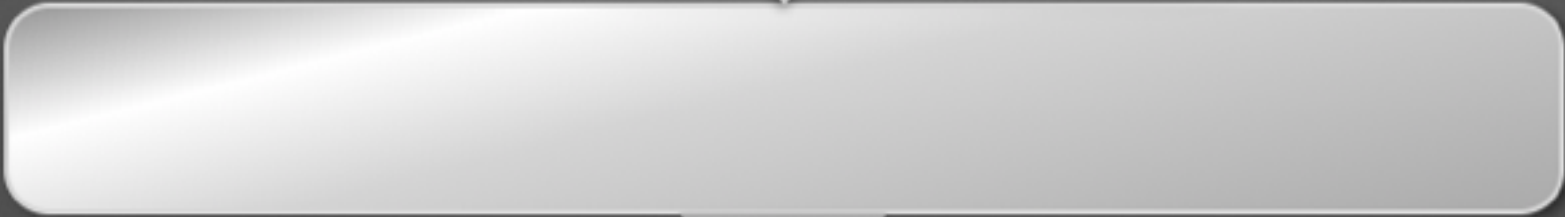
200 300 400



① 【テキスト】 をクリック



②今回は、こちらをクリック

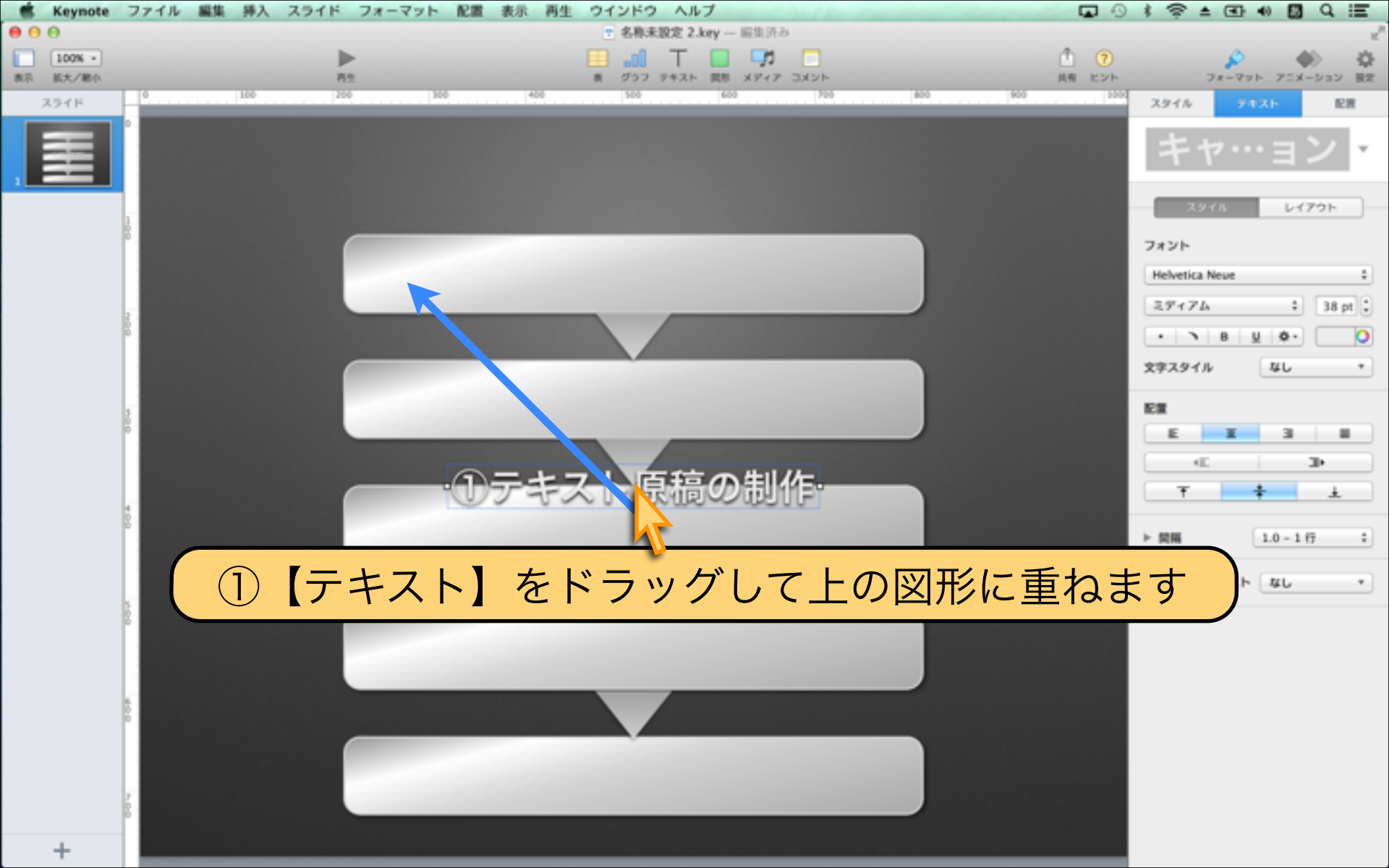


① 【テキストボックス】が挿入されました



テキスト

②文字の上で【ダブルクリック】して
「①テキスト原稿の制作」と文字入力します



①テキスト原稿の制作

①【テキスト】をドラッグして上の図形に重ねます

【図形とテキストの重なり順序】の解説

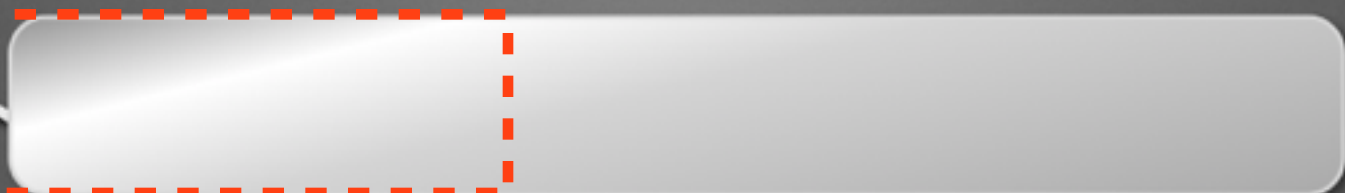
①テキスト原稿の制作



①今回は、図形の上にテキストが重なりましたが、逆に図形の下にテキストが表示される場合もあります

①図形の【下】にテキストが表示される場合

①テキスト

A diagram illustrating text placement below a shape. It features a light gray rounded rectangle on the right. To its left, a white rounded rectangle is positioned below the baseline of the gray rectangle. A red dashed border encloses the white rectangle and the text '①テキスト' to its left.

②図形の【上】にテキストが表示される場合

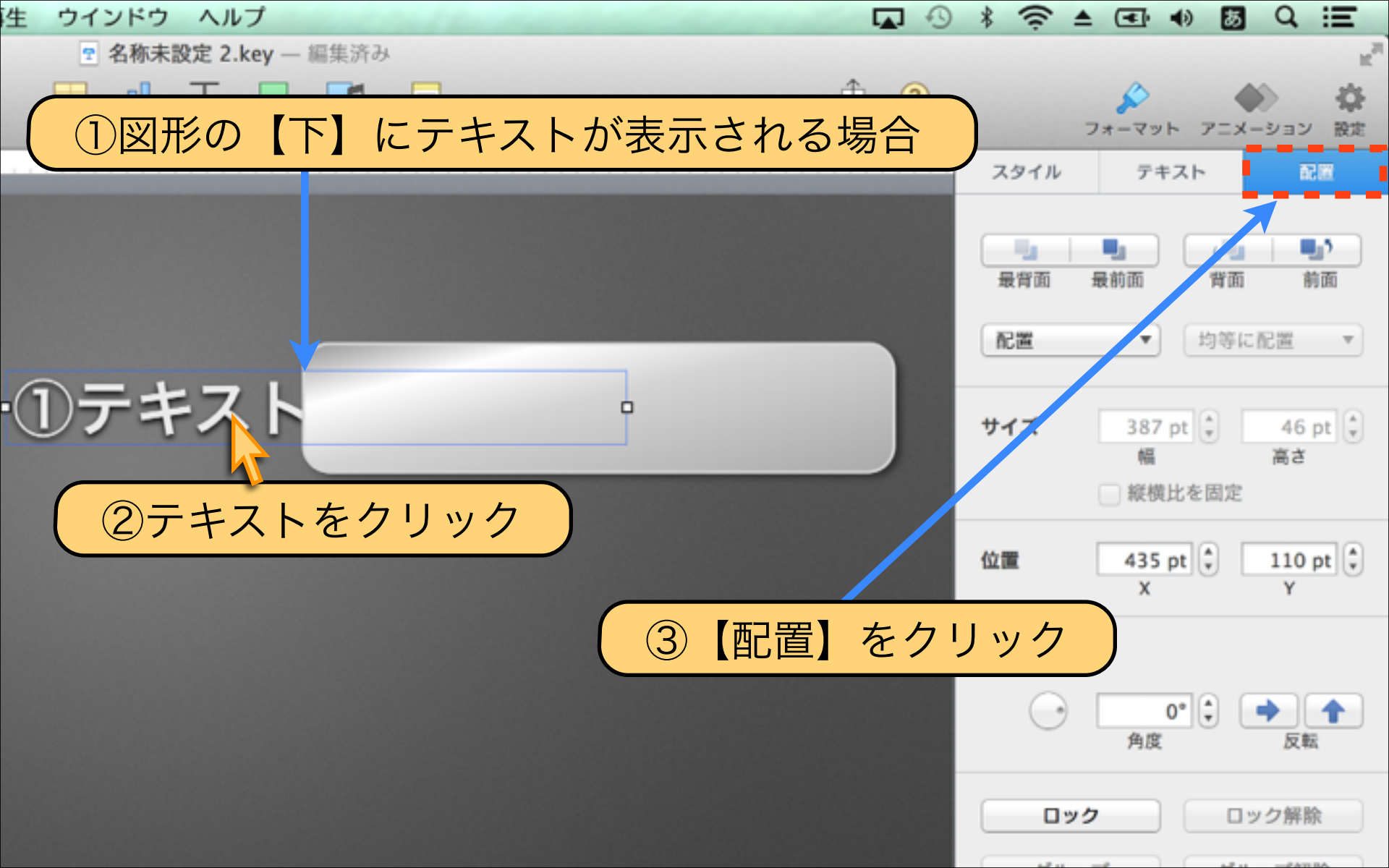
①テキスト

原稿の制作

A diagram illustrating text placement above a shape. It features a light gray rounded rectangle on the right. To its left, a white rounded rectangle is positioned above the top edge of the gray rectangle. A red dashed border encloses the white rectangle and the text '①テキスト' to its left. The text '原稿の制作' is placed inside the white rectangle.

【POINT】

後から作成された図形やテキストが上に表示されます

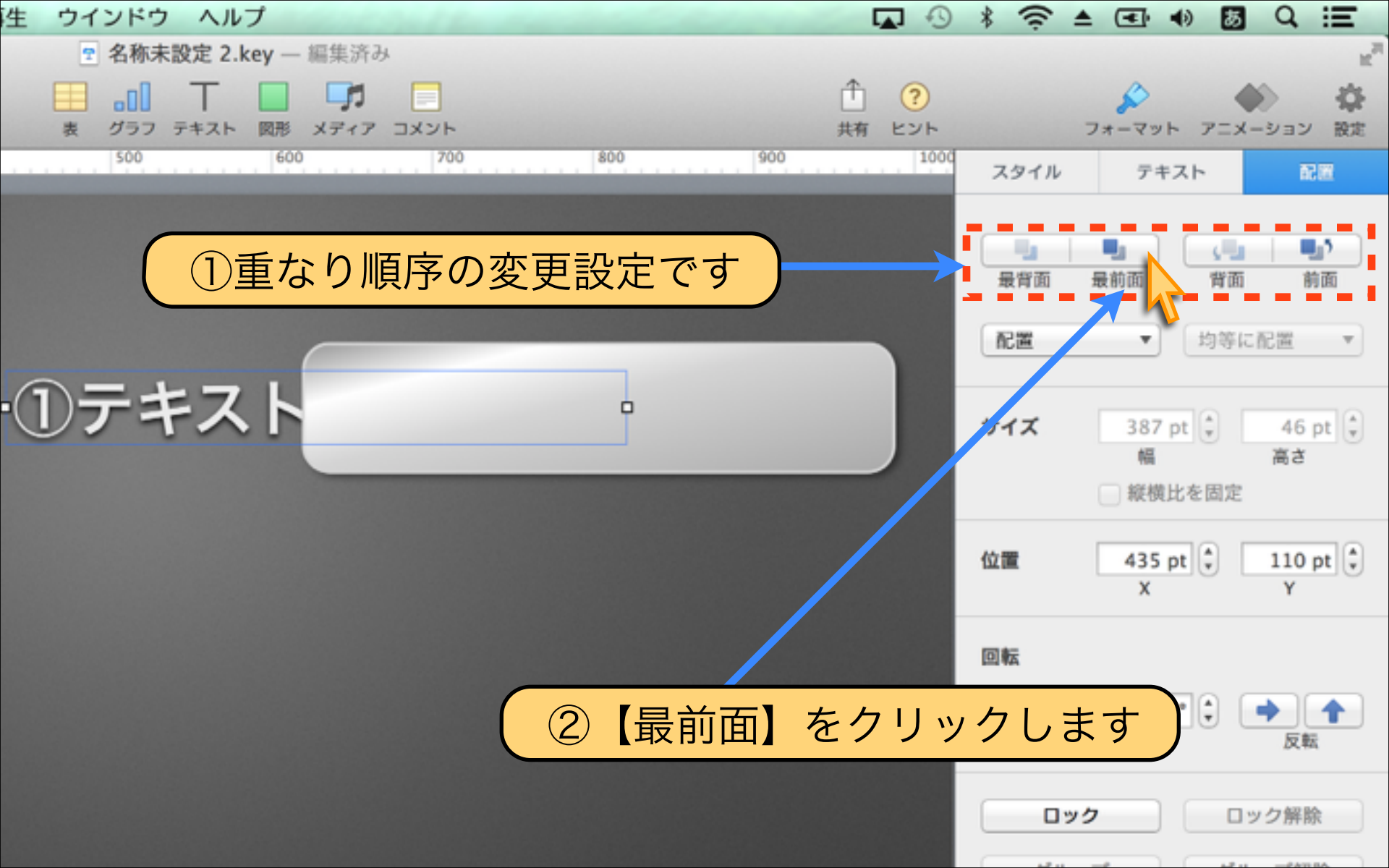


①図形の【下】にテキストが表示される場合

①テキスト

②テキストをクリック

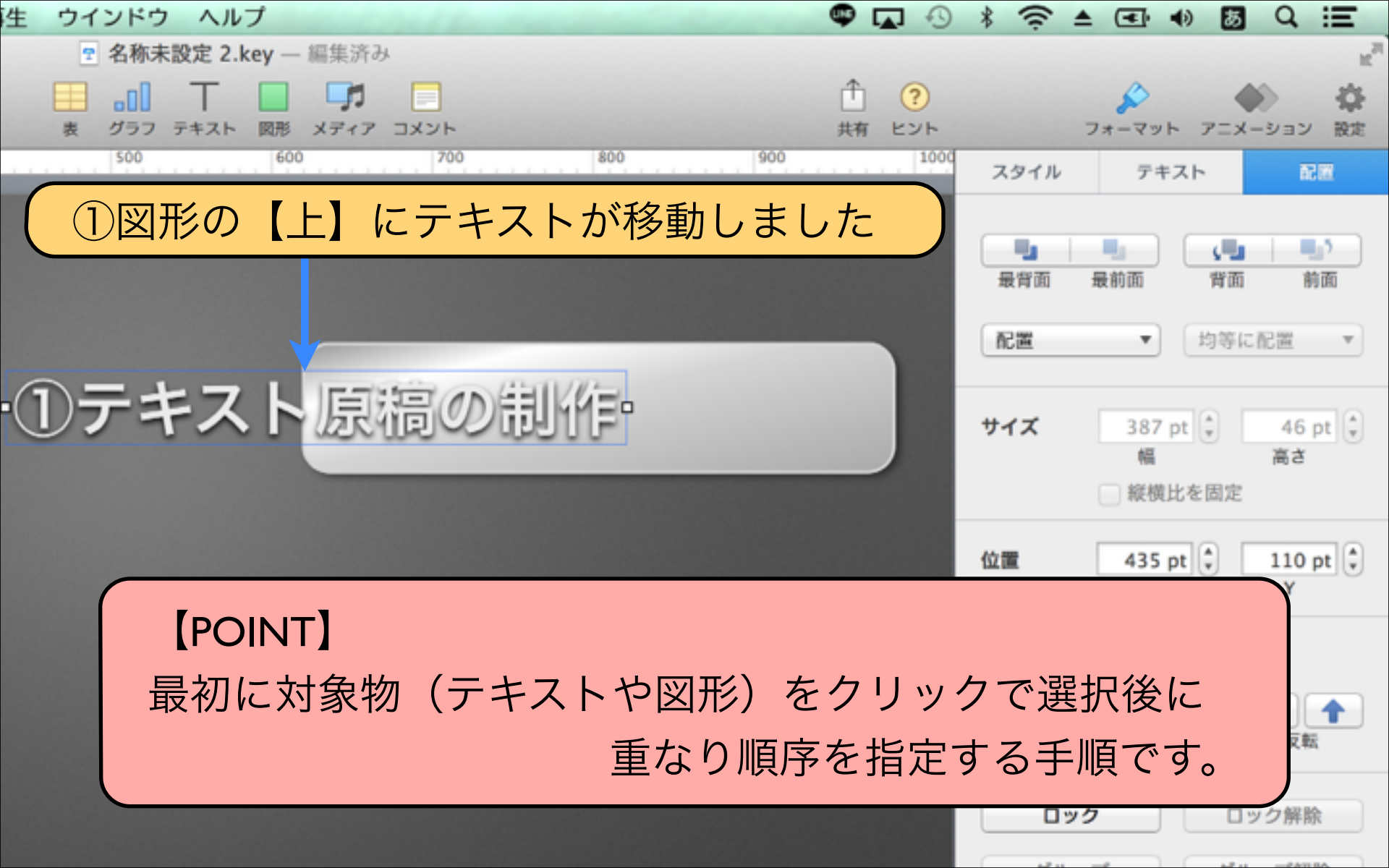
③【配置】をクリック



①重なり順序の変更設定です

①テキスト

②【最前面】をクリックします



①図形の【上】にテキストが移動しました

①テキスト原稿の制作

【POINT】

最初に対象物（テキストや図形）をクリックで選択後に
重なり順序を指定する手順です。

【見やすいテキストのスタイルに変更します】

①テキスト原稿の制作

①変更するテキストをクリックで選択

②テキストスタイルをクリック

スタイル テキスト 配置

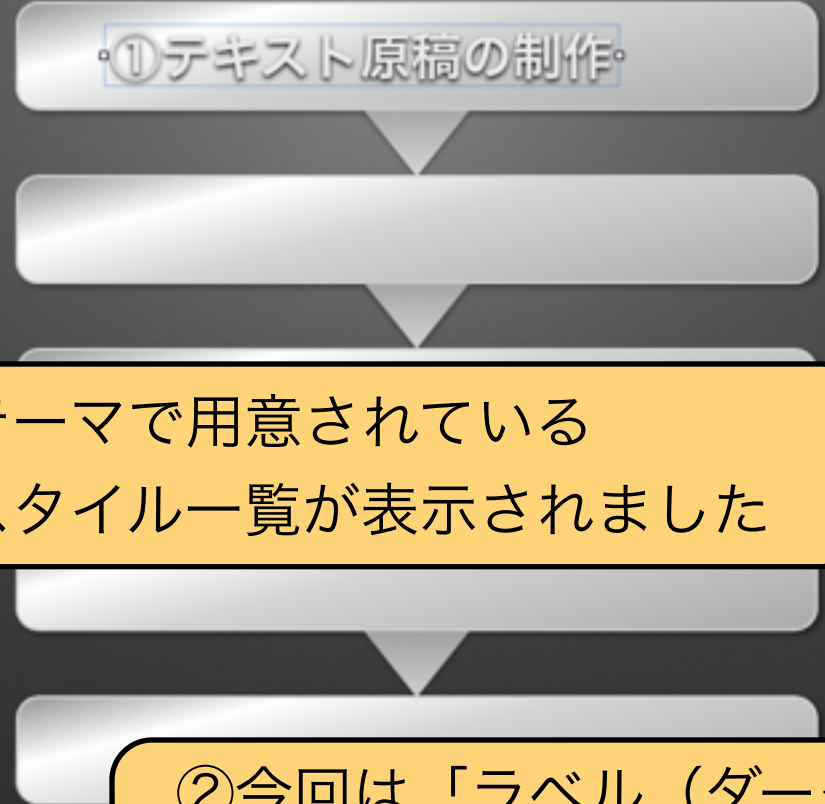
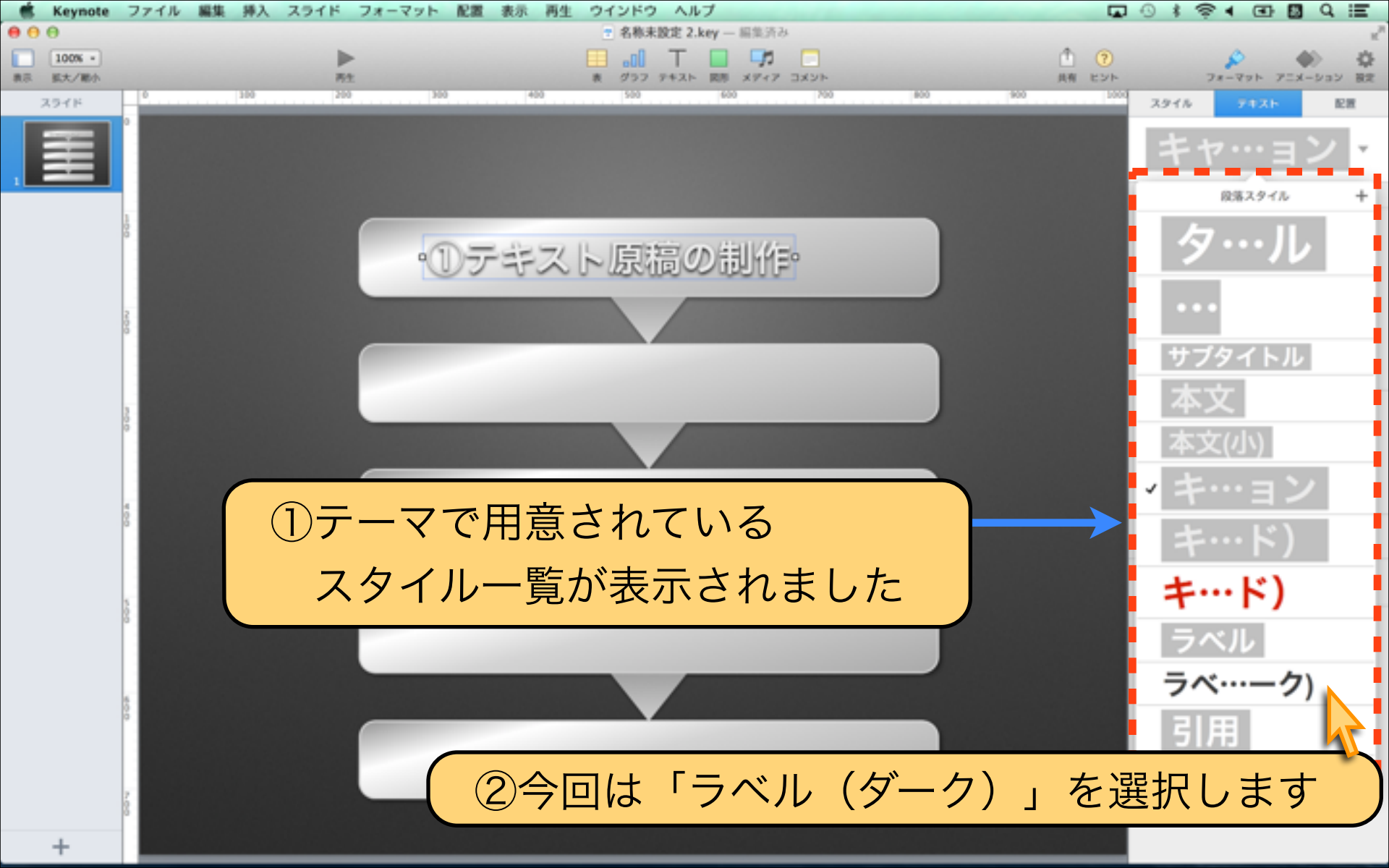
キヤ…ョン

スタイル レイアウト

フォント
Helvetica Neue
ミディアム 38 pt

文字スタイル なし

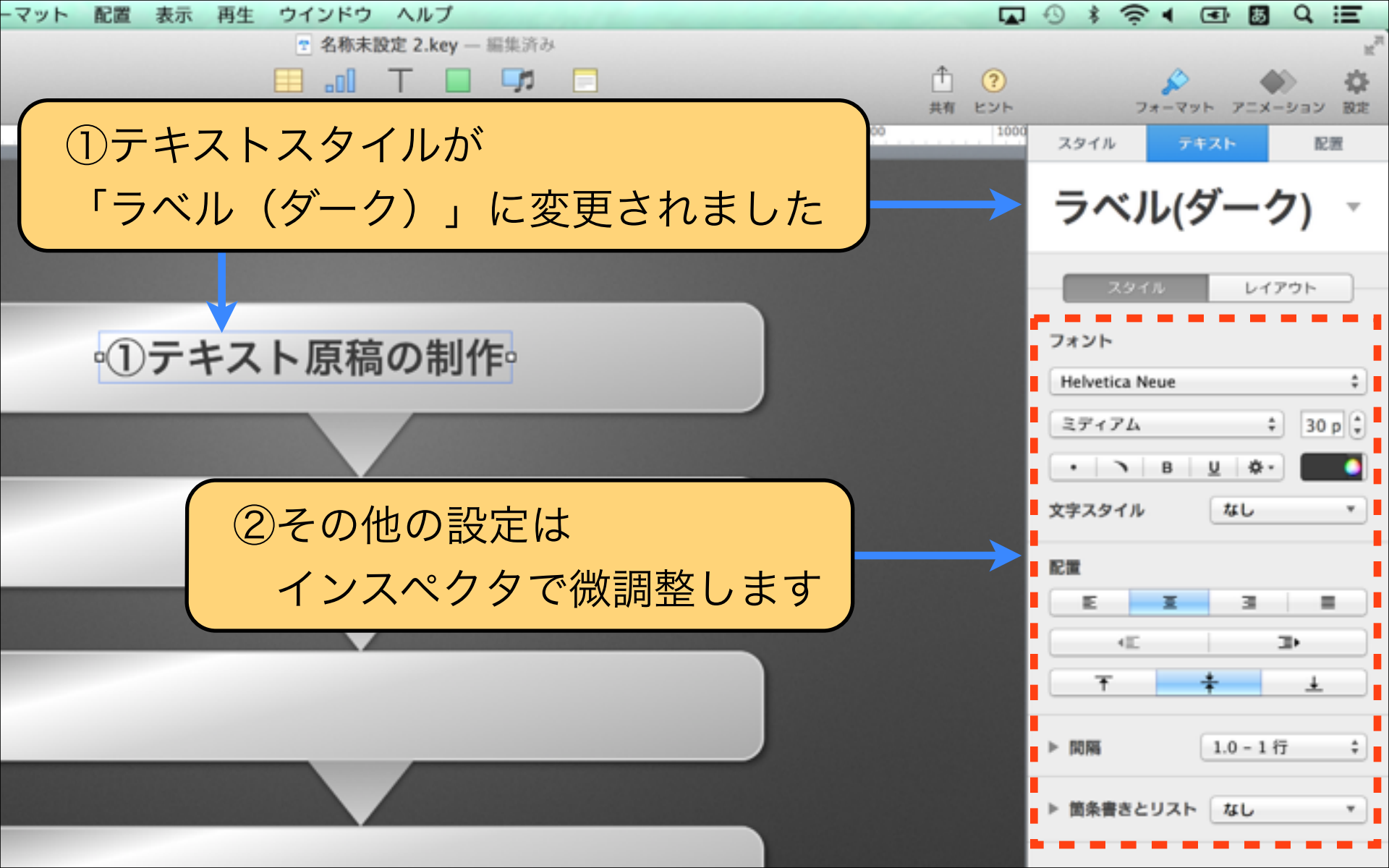
配置
E A Z M
<E E>
下 中 上
間隔 1.0 - 1行
簡条書きとリスト なし



①テーマで用意されている
スタイル一覧が表示されました

②今回は「ラベル (ダーク)」を選択します

- キャ...ヨン
- 段落スタイル +
- タ...ル
- ...
- サブタイトル
- 本文
- 本文(小)
- ✓ キ...ヨン
- キ...ド)
- キ...ド)
- ラベル
- ラベ...ーク)
- 引用



①テキストスタイルが「ラベル(ダーク)」に変更されました

①テキスト原稿の制作

②その他の設定はインスペクタで微調整します

ラベル(ダーク)

フォント

Helvetica Neue

ミディアム

30 p

文字スタイル

なし

配置

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

▶ 間隔

1.0 - 1行

▶ 箇条書きとリスト

なし

【スタイル変更したテキストを複製して配置します】

空白

①テキスト原稿の制作

①テキスト原稿の制作

①[optionキー]+ドラッグで
テキストが複製されます

②全ての図形の上にテキストを複製します

アビアランス

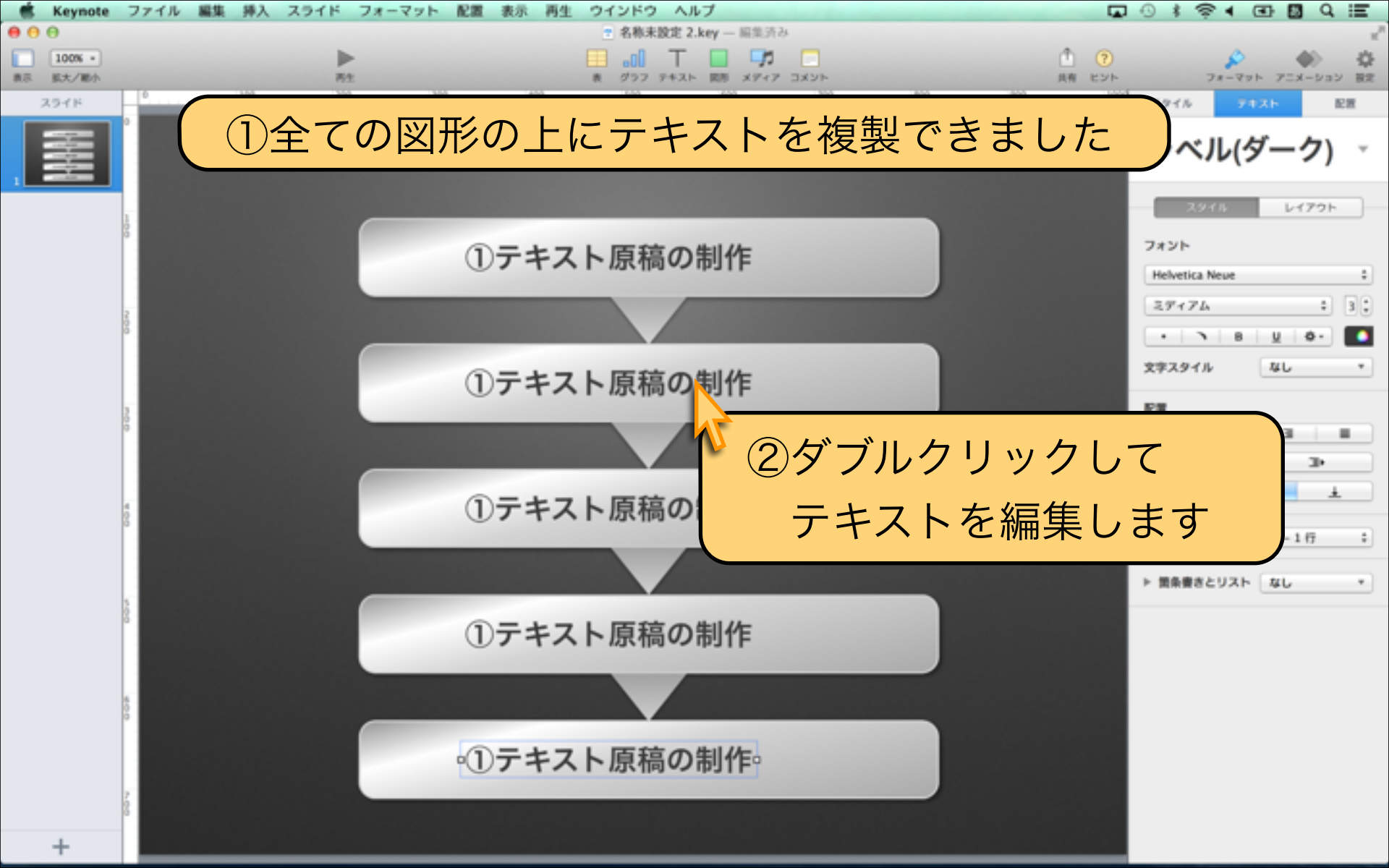
タイトル

本文

スライド番号

▶ 背景

マスタースライドを編集



①全ての図形の上にテキストを複製できました

①テキスト原稿の制作

①テキスト原稿の制作

②ダブルクリックして
テキストを編集します

①テキスト原稿の

①テキスト原稿の制作

①テキスト原稿の制作

①今回は、以下のようにテキストを編集しました

①テキスト原稿の制作

②最後に全部のテキストを「左揃え」にして整えます

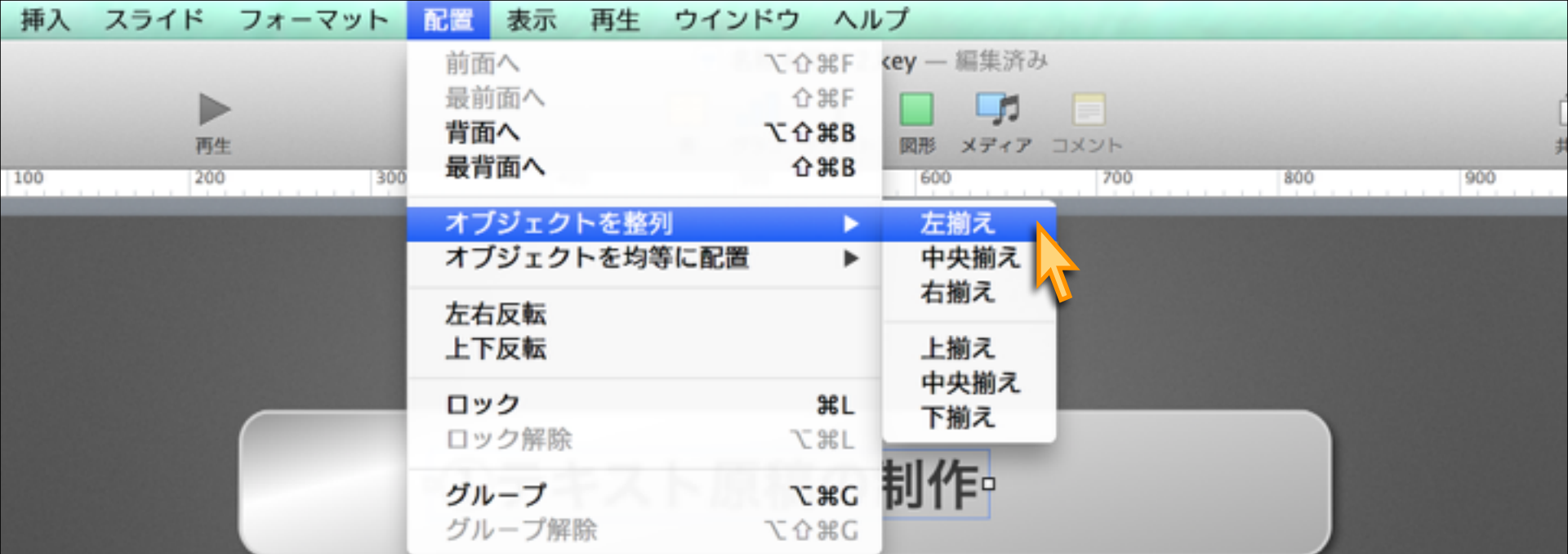
②図形や資料の挿入

③すべてのテキストを [shiftキー]+クリックで選択状態にします

③デザイン&レイアウト

④アニメーション設定

⑤プレゼン資料の完成



① 【配置】 — 【オブジェクトを整列】 — 【左揃え】 をクリック

② 図形や資料の挿入

② テキストの位置をドラッグで微調整します

③ デザイン&レイアウト

①タイトルを追加したらスライドの完成です

プレゼンテーションを効率よく作成する手順

①テキスト原稿の制作

②図形や資料の挿入

③デザイン&レイアウト

④アニメーション設定

⑤プレゼン資料の完成

スライドレイアウト

空白

アビラランス

- タイトル
- 本文
- スライド番号

背景

マスタースライドを編集

【スライドに最適な文字の大きさは？】



プレゼンで使用するスライド資料は文字が小さ過ぎないように注意が必要です。逆に、持ち帰って読んでもらう為の資料は情報をしっかりと盛り込みましょう。使用場所や目的によって使い分けましょう。



Lesson 4-6

グラフの作成

keynote-study.com

【グラフの作成方法】

① 【グラフ】 をクリック

① グラフの一覧メニュー
が表示されました

② グラフの分類を選択します

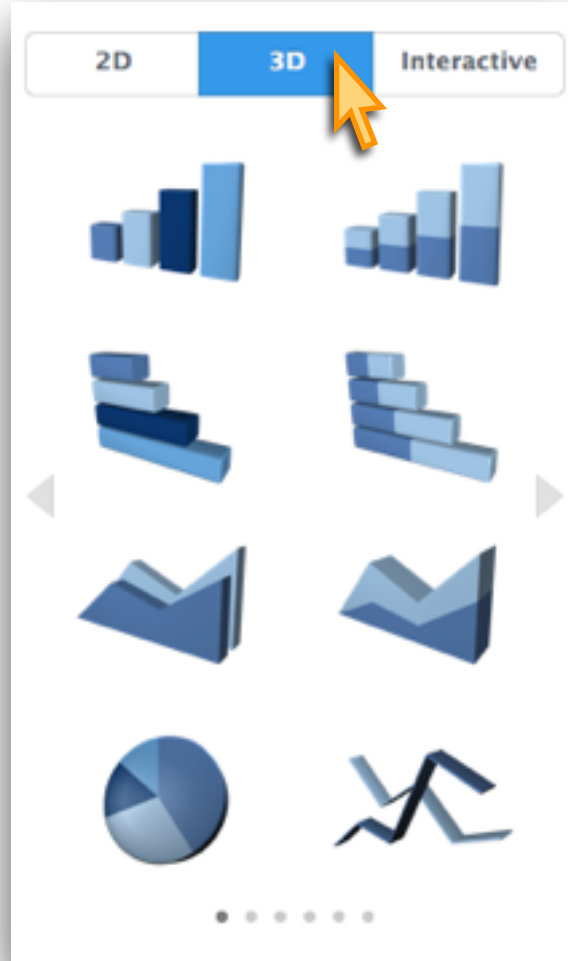
- ・ 2D グラフ
- ・ 3D グラフ
- ・ Interactive

③ カラーサンプル
の切り替え

④ 好きなグラフをクリックで挿入します



【グラフの分類を選択できます】










【グラフのカラーサンプルを選択できます】



① 【▶】 クリックすると、次のカラーサンプルが表示されます



2D 3D Interactive



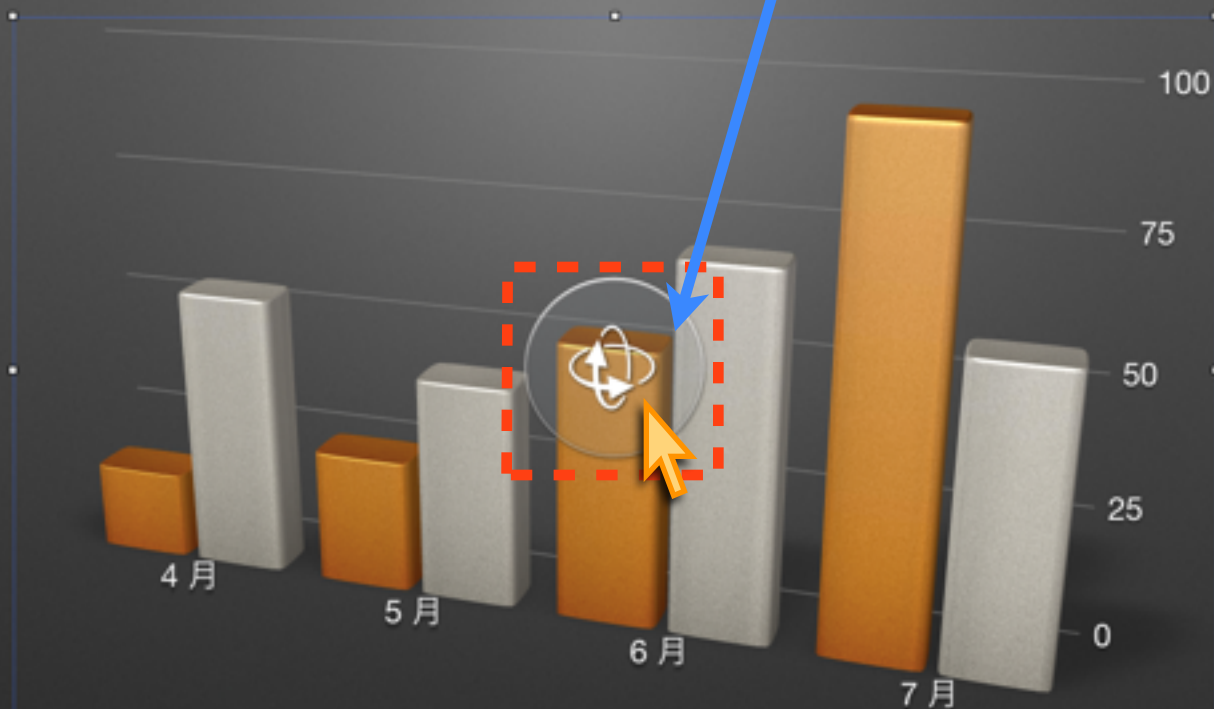
.....

①今回は「3Dグラフ」を選択

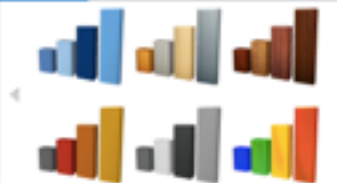
②今回はこちらのグラフを選択

① グラフが作成されました

② グラフの【表示角度をドラッグで調整】できます



グラフ 座標軸 系列 配置



グラフスタイル

グラフオプション

- タイトル
- 凡例

グラフフォント

Helvetica Neue
レギュラー

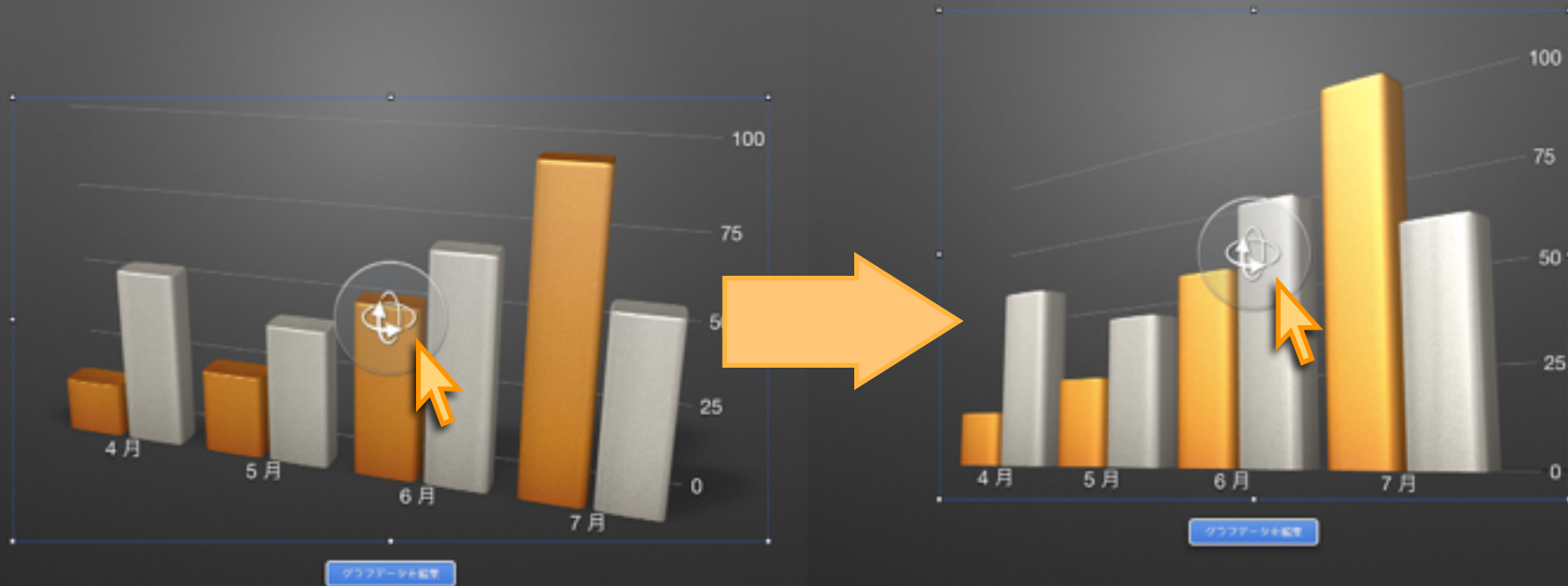
グラフのカラー

3D シーン

陰影

- 影
- ぼかし: 10 pt
- オフセット: 0 pt
- 不透明度: 50%
- 角度: 230°

① グラフの表示角度をドラッグで調整しました



② グラフ表示角度の調整前

③ グラフ表示角度の調整後

【グラフ数値の入力方法】



グラフデータを編集

① グラフ下の【グラフデータを編集】をクリック



① 「グラフデータウィンドウ」が表示されました

	4月	5月	6月	7月
地域1	17	26	53	96
地域2	55	43	70	58

①セルの数値を入力後、[returnキー]で確定します

	4月	5月	6月	7月
地域1	17	26	53	96
地域2	55	43	70	58

②入力完了後にウィンドウを閉じます

③セルの数値がグラフに自動的に反映されます

【グラフの移動と大きさの調整方法】

① 【白い小さな四角】 をドラッグで自由に大きさを調整できます

② 移動は 【グラフの上でドラッグ】 します



【グラフの詳細設定】

① グラフをクリックします

② 【インスペクタ】から詳細設定ができます

グラフ 座標軸 系列 配置

グラフスタイル

グラフオプション

- タイトル
- 凡例

グラフフォント

Helvetica Neue

レギュラー

グラフのカラー

3D シーン

間隔

影

ぼかし 10 pt

オフセット 0 pt

不透明度 50%

角度 230°

【グラフの形状変更】

① グラフの形状を途中で変更できます

② グラフをクリックして
インスペクタウインドウを表示します

③ 【グラフのタイプ】 をクリック

グラフのカラー



▶ 3D シーン

▶ 間隔

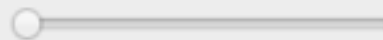
影

ぼかし



10 pt

オフセット



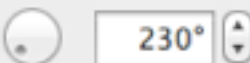
0 pt

不透明度

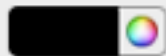


50%

角度 :



230°



グラフのタイプ

3D 縦棒グラフ

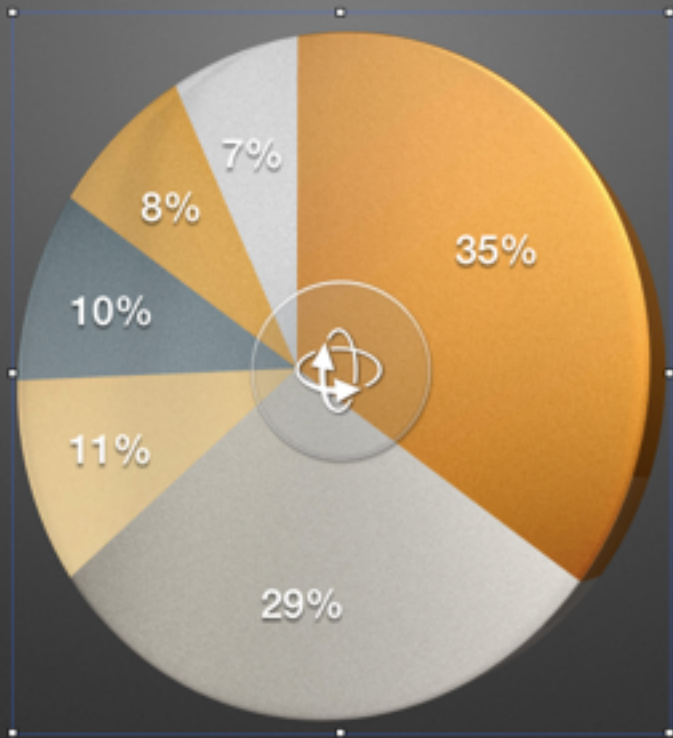
① 【グラフの一覧メニュー】が表示されました

②好きなグラフをクリックで選択します

③今回は【3D円グラフ】を選択します

- 
- グラフのカラー
- 2D 縦棒
 - 2D 積み重ね縦棒
 - 2D 横棒
 - 2D 積み重ね横棒
 - 2D 折れ線
 - 2D 面
 - 2D 階層
 - 2D 円
 - 2D 散布図
 - 2D バブル
 - 2D 混合
 - 2D 2軸
-
- ✓ 3D 縦棒グラフ
 - 3D 積み重ね縦棒グラフ
 - 3D 横棒グラフ
 - 3D 積み重ね横棒グラフ
 - 3D 折れ線グラフ
 - 3D 面グラフ
 - 3D 階層グラフ
 - 3D 円グラフ
 - 縦棒
 - 横棒
 - 散布図
 - インタラクティブバブル

① グラフの形状が変更されました



グラフデータを編集

グラフ 分割部分 配置



グラフスタイル

グラフオプション

- タイトル
- 凡例

グラフフォント

Helvetica Neue

レギュラー

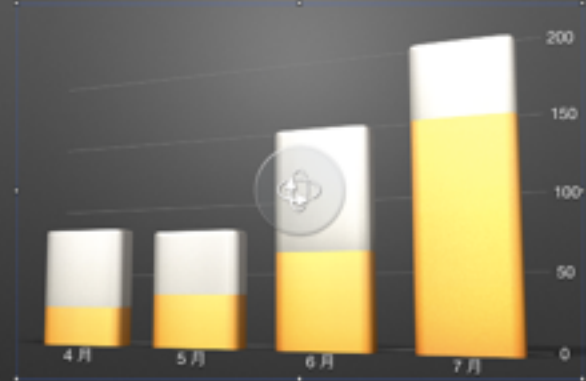
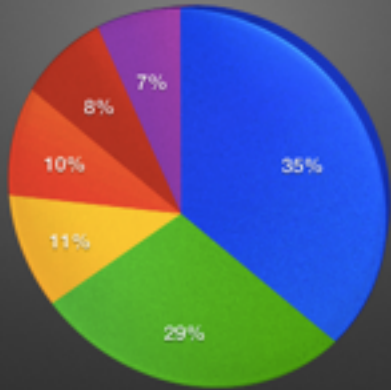
グラフのカラー



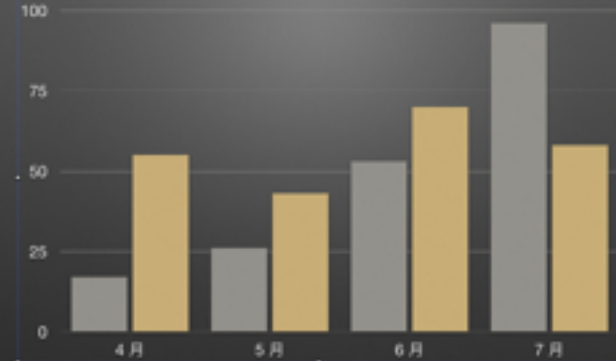
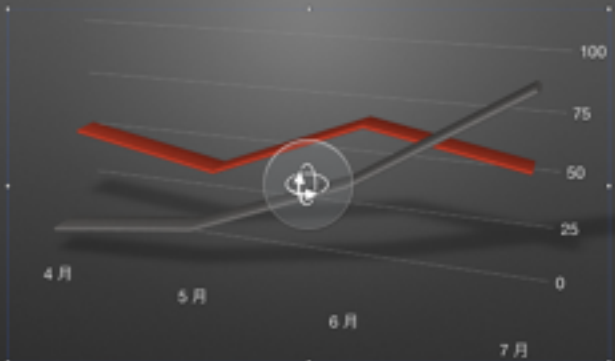
3D シーン

グラフのタイプ

3D 円グラフ



①色や形状を変更することで、様々なグラフを作成できます



【Keynoteの3Dグラフとビルド表示】



Keynoteの3Dグラフの作成機能は、
デザイン製の高いグラフが簡単に作成できます。
グラフ表示のビルドアニメーションも専用の
「3Dグラフエフェクト」が用意されています。